

3 HTMLとCSSの切り分け

HTMLやCSSの仕様は、「W3C (WWW Consortium)」というWeb技術の標準化を進める団体が決めています。W3Cでは、Webページの文書構造と見栄えを切り離すことを推奨しています。文書構造と見栄えを切り離すとは、HTMLで文書構造を記述し、CSSで見栄えを記述するということです。

※Webクリエイター能力認定試験の出題範囲は、HTML4.01およびCSS2.1の仕様に基づき決定されています。

1 HTML4.01とは

HTMLは「2.0」「3.0」「3.2」「4.0」とバージョンアップを重ね、最新バージョンは「HTML4.01」です。また、現在「5.0」が策定されています。「HTML4.01」は、1999年にW3Cによって標準化され、最も普及しています。

HTML3.2以前のHTMLでは、文書構造と見栄えを併記していたので、ブラウザによっては記述された内容を適切に表現できず、情報が正しく伝わらないことがありました。

HTML4.01は、HTMLで文書構造、CSSで文書の見栄えをそれぞれに分けて記述することを推奨しています。HTML4.01の記述ルールを守ったWebページはほとんどのブラウザで適切に表現され、情報を正しく伝えます。

2 CSS2.1とは

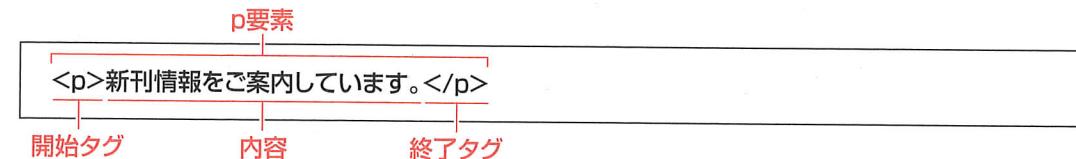
「CSS2」は1998年、HTML4.01より数か月前に公開されたCSSです。CSS2では、サイズをピクセル単位で細かく指定したり、ブラウザの種類ごとに異なる見栄えを設定したりできます。CSS2の一部の機能を改訂したバージョンが「CSS2.1」になります。

HTML4.01とCSS2.1を組み合わせるのが、現在の一般的なWebページの制作方法になっています。「CSS3」も公開されていますが、現在のブラウザの対応状況を考えるとCSS2.1を使った方がよいでしょう。

1 HTMLの記述方法

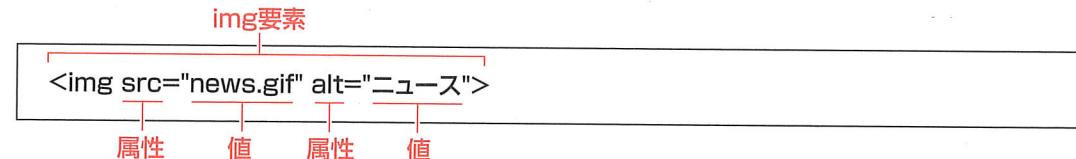
HTMLの基本的な記述方法を確認しましょう。

【例】文字列を段落にする



※p要素は段落を表す要素です。

【例】イメージファイルを挿入して、代替文字を設定する



※img要素はイメージファイル(画像)を表す要素です。

※src属性はイメージファイルを設定する属性です。

※alt属性は画像が表示できない場合に代わりに表示する文字列を設定する属性です。

●要素

段落・箇条書き・イメージ・表などWebページを構成する単位を「要素」といいます。

●タグ

HTMLでは、「タグ」と呼ばれる特別な記号を使って、文書構造を記述します。

「<>」で囲まれた部分をタグといいます。

タグには、「開始タグ」と「終了タグ」をペアで使うものと、「開始タグ」だけで「終了タグ」がないものがあります。終了タグには「/(スラッシュ)」が付きます。

●属性

要素に追加できる詳細な情報を「属性」といいます。属性は、開始タグの中に記述します。

属性の前には、半角空白を入力します。

ひとつの要素に複数の属性を指定することも可能です。複数の属性を指定する場合、その順番に決まりはありません。

●値

通常、属性は「値」を伴い、「属性="値"」のように値を「"(ダブルクオーテーション)」で囲みます。

2 HTML記述時の注意点

HTMLを記述するときは、次のような点に注意します。

●半角で入力する

タグは必ず半角で記述します。全角で記述してはいけません。

●大文字・小文字の区別はない

英字の大文字と小文字の区別はありません。どちらで入力してもかまいません。

※本書では、すべて小文字で記述しています。

●インライン要素はブロックレベル要素の中に記述する

要素は、大きく「ブロックレベル要素」と「インライン要素」に分類されます。

ブロックレベル要素は文書の骨組みを形成する要素で、ブラウザでは前後が改行して表示されます。

インライン要素は主にブロックレベル要素の内容の一部として扱われる要素で、ブラウザで前後は改行されません。インライン要素は単独で記述せず、ブロックレベル要素の中に記述します。



```
<body>
<p></p>
</body>
```



```
<body>

</body>
```

※段落を表すp要素はブロックレベル要素です。

※イメージファイルを表すimg要素はインライン要素です。



```
<body>
<p>僕は<em>3年生</em>です。</p>
</body>
```



```
<body>
僕は<em>3年生</em>です。
</body>
```

※強調を表すem要素はインライン要素です。

Point! 空要素

img要素のように内容を持たない要素を「空要素」といいます。空要素は終了タグを記述しません。

Point! 親要素と子要素

ブロックレベル要素は、内容に別の要素を含めることができます。

内容に入れる要素は、入れ子構造で記述します。

このとき外側の要素を「親要素」、内側の要素を「子要素」といいます。



```
<p>大切な<em>約束</em></p>
```



```
<p>大切な<em>約束</p></em>
```

●特殊な記号や文字は文字参照を使って記述する

ブラウザ上に文字列として「<」や「>」を表示するために、HTMLファイルにそのまま「<」や「>」を記述してしまうと、タグの「<」や「>」と認識され、意図した通りにブラウザに表示されないことがあります。

また、ブラウザ上で文字列と文字列の間を空けるために、HTMLファイルに空白を記述しても、ブラウザ上でその空白を無視してしまうことがあります。

このようなことを防ぐために、特殊な記号や文字は「文字参照」を使って記述します。たとえば、ブラウザに「<」と表示するためには「<」、空白を入れるためには「 」といった文字参照を使ってHTMLファイルに記述します。

特殊な記号・文字	文字参照
半角空白	
<	<
>	>
©	©
®	®
™	™
"	"



```
<p>Webクリエイター能力認定試験&lt;初級&gt;</p>
```



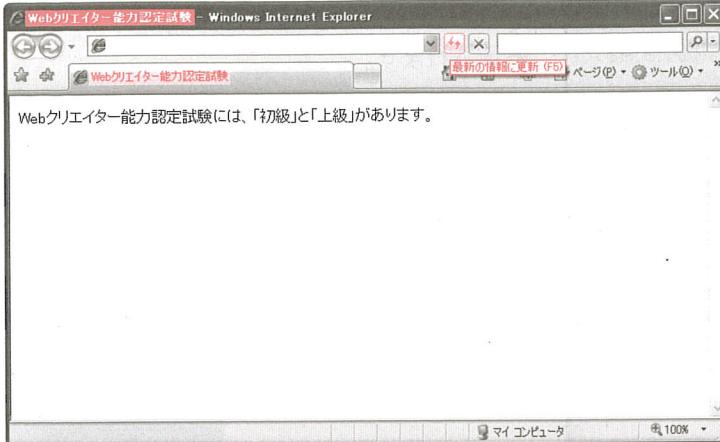
```
<p>Webクリエイター能力認定試験<初級></p>
```



```
<p>集合時間&nbsp;8時40分</p>
<p>集合場所&nbsp;JR博多駅</p>
```



```
<p>集合時間 8時40分</p>
<p>集合場所 JR博多駅</p>
```



- ⑫Internet Explorerに切り替えます。
- ⑬(最新の情報に更新)をクリックします。
※Internet Explorer 6の場合、(更新)をクリックします。
- ⑭結果を確認します。

参考 Skill up **その他の方法(更新)**

- ◆メニュー: [Alt] →《表示》→《最新の情報に更新》
- ※メニューが表示されている場合、[Alt]を押す必要はありません。
- ◆キー: [F5]

④ 解答を確認する

メモ帳に切り替えて、HTMLファイルの記述が正しいかどうかを確認します。

解答

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
  <head>
    <title>Webクリエイター能力認定試験</title>
  </head>
  <body>
    <p>Webクリエイター能力認定試験には、「初級」と「上級」があります。</p>
  </body>
</html>

```

※確認できたら、メモ帳とInternet Explorerを終了しておきましょう。

参考 Skill up **ファイルの上書き**

- 上記の流れで実習すると、セットアップしたファイルは上書きされます。
再度実習する場合は、データをセットアップし直してください。
※セットアップ方法については、P.3を参照してください。

Chapter 2 STEP 一般ページ



文書型宣言

HTMLファイルの先頭では、そのHTMLファイルの文書型を宣言します。これを「DTD (Document Type Definition)」といいます。HTML4.01には次の3つのDTDがあるので、記述内容に応じて、どれかを必ず記述します。

分類	説明	記述文
Strict DTD (厳密型)	HTML4.01で推奨されている要素や属性だけを使ってWebページを作成する場合に使用します。	<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
Transitional DTD (移行型)	Strict DTDで定義された要素や属性に加えて、HTML4.01で推奨されていない要素や属性を使ってWebページを作成する場合に使用します。	<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
Frameset DTD (フレーム設定型)	Transitional DTDで定義された要素や属性に加えてフレーム関連の要素や属性を使ってWebページを作成する場合に使用します。	<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Frameset//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/frameset.dtd">



<html> </html> HTMLファイルを宣言する

HTMLファイルであることを宣言します。
HTMLファイルの開始位置に<html>、終了位置に</html>を記述します。
html要素は、head要素とbody要素から構成されています。



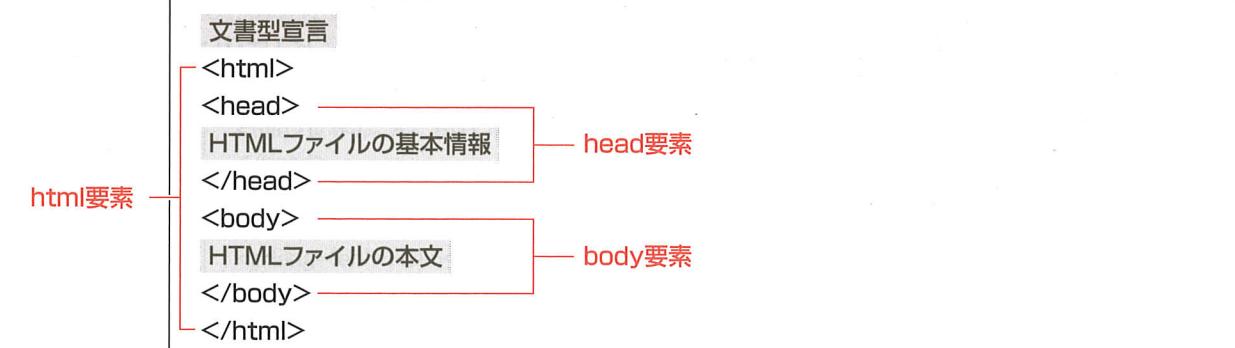
<head> </head> HTMLファイルの基本情報を定義する

HTMLファイルのさまざまな情報を定義します。
<head>～</head>間に記述される内容は、基本的にブラウザには表示されません。



<body> </body> HTMLファイルの本文を定義する

ブラウザに表示する本文を定義します。
<body>～</body>間に記述される内容は、本文としてブラウザに表示されます。



問題1

フォルダ「問題1」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、記述されている内容をHTMLファイルとして構造化しなさい。

title要素をHTMLファイルの基本情報、p要素をHTMLファイルの本文にすること。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html>
<head>
<title>Webクリエイター能力認定試験</title>
</head>
<body>
<p>Webクリエイター能力認定試験には、「初級」と「上級」があります。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

※編集前と編集後の表示に変化はありません。

Point! 文書型宣言の大文字・小文字の区別

HTMLは、本来、大文字で記述しても小文字で記述してもかまいませんが、HTMLファイルの先頭に記述する文書型宣言は大文字と小文字を区別するので正確に記述します。

解説

<html lang="言語コード"> </html> 言語を指定する

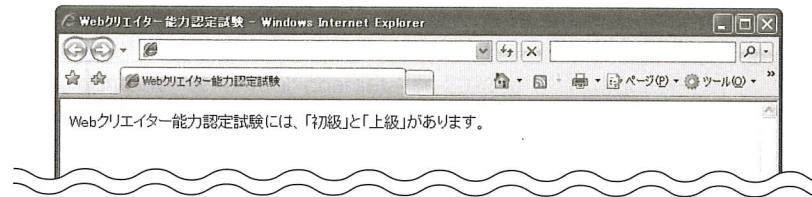
HTMLファイルがどの言語で書かれているのかを指定します。html要素にlang属性を記述すると、HTMLファイル全体の言語を指定できます。言語を指定することで、文字化けを防ぐことができます。言語コードは、次のように指定します。

指定方法	説明
lang="ja"	日本語
lang="en"	英語
lang="zh"	中国語
lang="es"	スペイン語
lang="de"	ドイツ語
lang="fr"	フランス語

問題2

フォルダ「問題2」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、HTMLファイルの言語として日本語を指定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<title>Webクリエイター能力認定試験</title>
</head>
<body>
<p>Webクリエイター能力認定試験には、「初級」と「上級」があります。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

※編集前と編集後の表示に変化はありません。

Point! 複数の言語の指定

lang属性は、さまざまな要素に対応しています。

ひとつのHTMLファイルで複数の言語を使う場合、各要素にlang属性を記述します。

```
<html>
<head>
<title>世界のこにちは</title>
</head>
<body>
<p lang="jp">こにちは</p>
<p lang="en">Hello</p>
<p lang="fr">Bonjour</p>
</body>
</html>
```



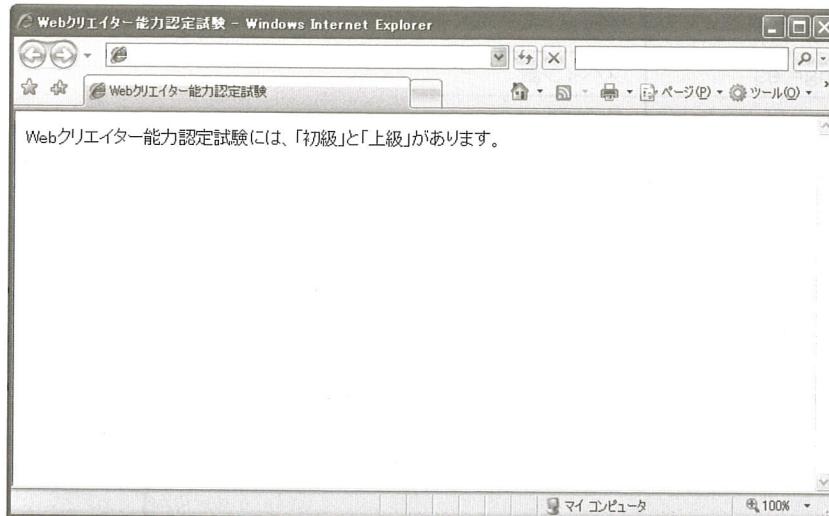
<title> </title> タイトルを設定する

HTMLファイルのタイトルを設定します。title要素は、head要素内に記述します。タイトルはブラウザのタイトルバーに表示されます。

問題3

フォルダ「問題3」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、HTMLファイルのタイトルとして「Webクリエイター能力認定試験」を設定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<title>Webクリエイター能力認定試験</title>
</head>
<body>
<p>Webクリエイター能力認定試験には、「初級」と「上級」があります。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



<meta http-equiv="付加する情報の項目" content="付加する情報の値">

特別な情報を付加する

HTMLファイルに特別な情報を付加します。主に、文字コードやスタイルシート言語などを指定する場合に使用します。meta要素は、head要素内に記述します。また、空要素なので、終了タグは記述しません。http-equiv属性には、付加する情報の項目を記述します。content属性には、http-equiv属性に対応する値を指定します。

※「スタイルシート言語」については、P.70を参照してください。



<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=文字コード">

文字コードを指定する

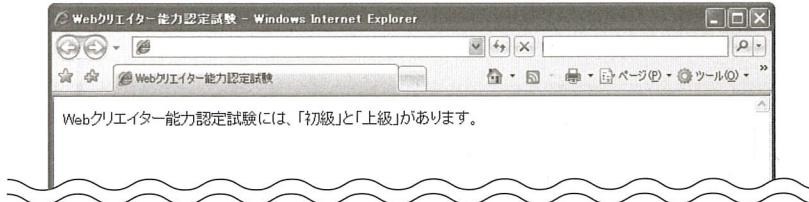
HTMLファイルの文字コードを指定します。文字コードを指定することで、文字化けを防ぐことができます。文字コードを指定するときはhttp-equiv属性に"Content-Type"と記述し、content属性に"text/html; charset=文字コード"のように記述します。文字コードは、次のように指定します。

指定方法	説明
content="text/html; charset=Shift_JIS"	シフトJISコード
content="text/html; charset=euc-jp"	日本語EUC
content="text/html; charset=iso-2022-jp"	JISコード

問題4

フォルダ「問題4」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、HTMLファイルの文字コードとしてShiftJISコードを指定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>Webクリエイター能力認定試験</title>
</head>
<body>
<p>Webクリエイター能力認定試験には、「初級」と「上級」があります。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

※編集前と編集後の表示に変化はありません。

Point! meta要素の大文字・小文字の区別

HTMLは、本来、大文字で記述しても小文字で記述してもかまいませんが、meta要素のhttp-equiv属性の値("Content-Type"や"Content-Style-Type"など)は、大文字と小文字を区別するので正確に記述します。

Chapter 2

STEP2 仕切り



<p> </p> 段落にする

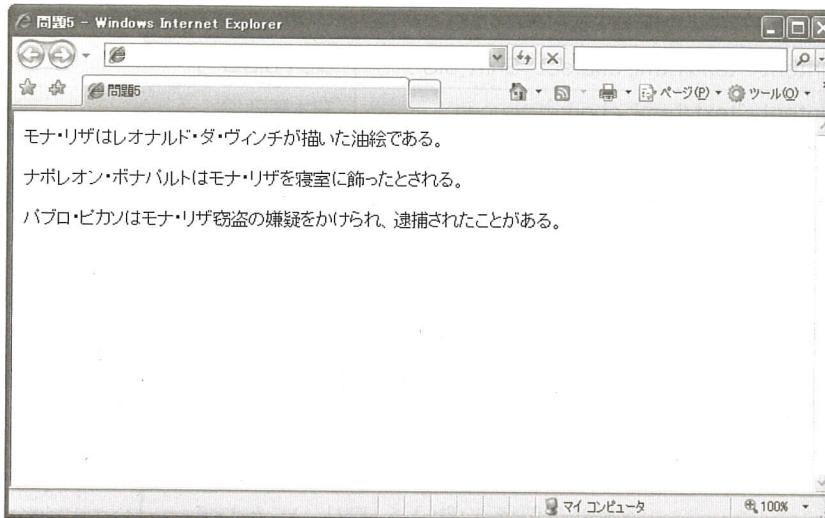
<p>～</p>で囲まれた文字列やイメージ(画像)をひとつの段落にします。

p要素はブロックレベル要素なので、<p>～</p>で囲まれた文字列やイメージの前後は行間隔が空きます。

問題5

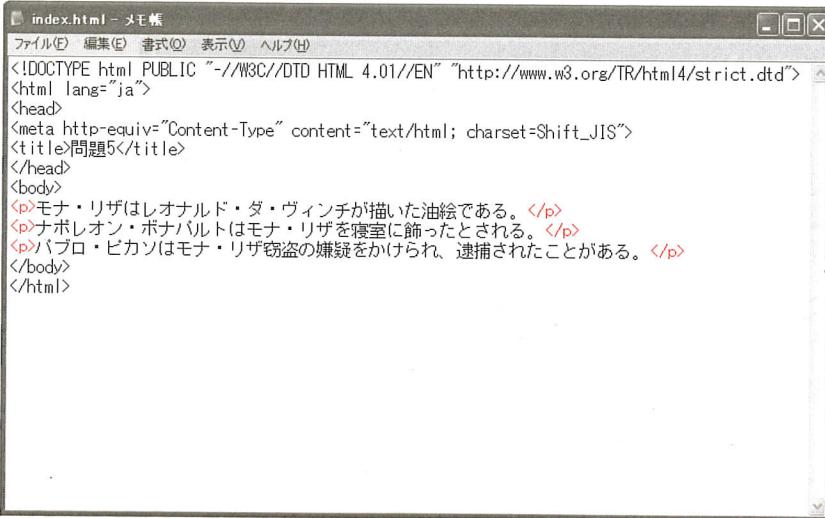
フォルダ「問題5」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「モナ・リザは…油絵である。」「ナポレオン・ボナパルトは…飾ったとされる。」「パブロ・ピカソは…逮捕されたことがある。」をそれぞれ段落に設定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。



※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



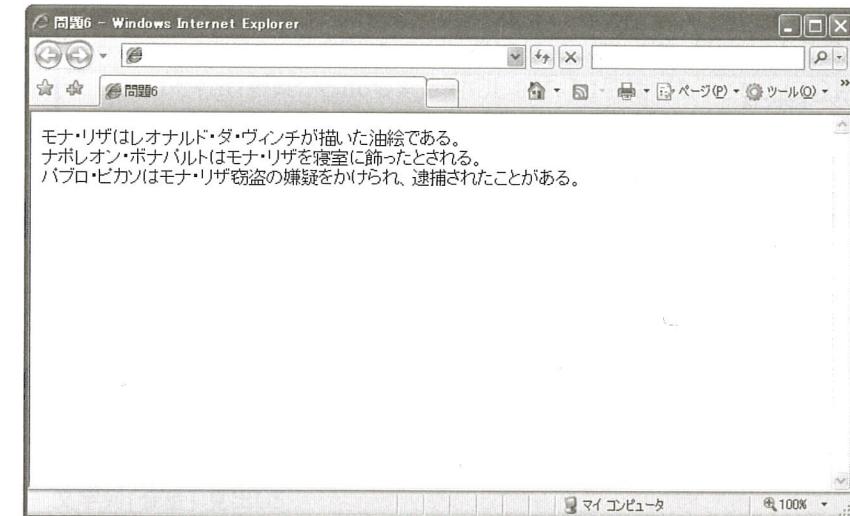
 改行する

段落を分けずに改行します。改行したい位置に
を記述すると、その位置で改行されます。
br要素は空要素なので、終了タグは記述しません。

問題6

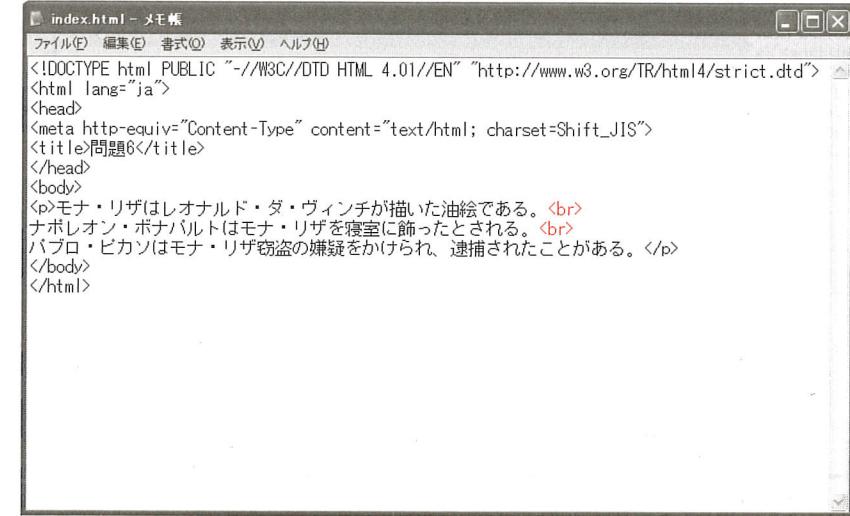
フォルダ「問題6」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「…油絵である。」と「…飾つたとされる。」の後にそれぞれ改行を挿入しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。



※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



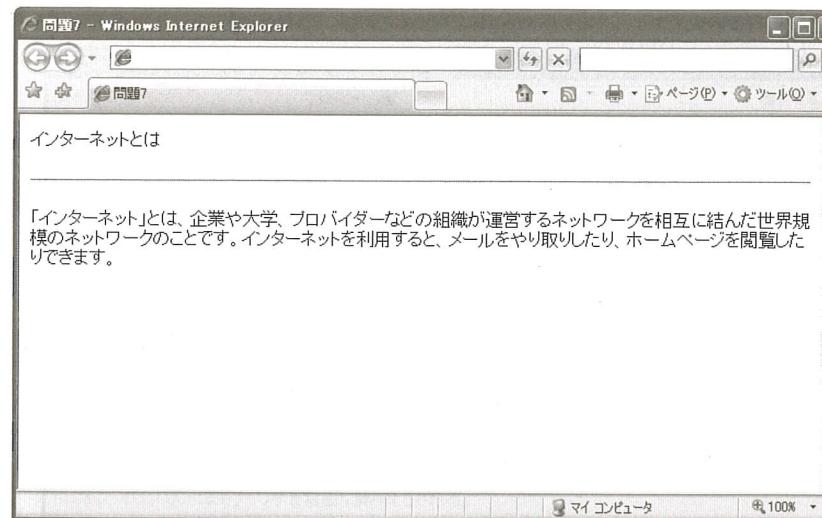
<hr> 水平線を挿入する

水平線を挿入します。hr要素は空要素なので、終了タグは記述しません。

問題7

フォルダ「問題7」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、段落「インターネットとは」の下に水平線を挿入しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<index.html - メモ帳>
[ファイル(E) | 編集(U) | 書式(O) | 表示(V) | ヘルプ(H)]
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題7</title>
</head>
<body>
<p>インターネットとは</p>
<hr>
<p>「インターネット」とは、企業や大学、プロバイダーなどの組織が運営するネットワークを相互に結んだ世界規模のネットワークのことです。インターネットを利用すると、メールをやり取りしたり、ホームページを閲覧したりできます。</p>
</body>
</html>
```

*ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Chapter
2STEP3
文字装飾

<h○> </h○> 見出し1～見出し6にする

*○には1～6の数値を指定します。

<h○>～</h○>で囲まれた文字列やイメージを見出しにします。見出し1から見出し6までの6段階のレベルがあり、それぞれh1要素からh6要素に対応します。h1要素がもっとも上位の見出し、h6要素がもっとも下位の見出しだけです。通常、ブラウザでは上位の見出しほど文字列が大きく表示されます。

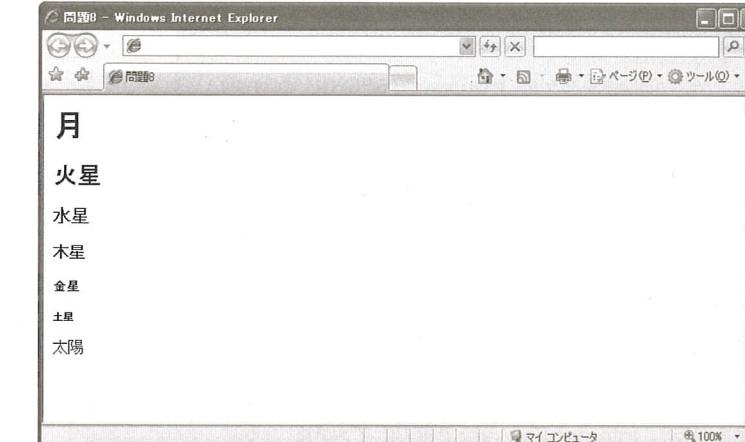
また、見出しがWebページの構造に応じて、h1要素、h2要素、h3要素、h4要素、h5要素、h6要素の順番で記述します。ひとつのHTMLファイルの中でh1要素を記述せずに、h2要素を記述するのは適切ではありません。

問題8

フォルダ「問題8」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、記述されている文字列を見出しにしなさい。

文字列「月」：見出し1
 文字列「火星」：見出し2
 文字列「水星」：見出し3
 文字列「木星」：見出し4
 文字列「金星」：見出し5
 文字列「土星」：見出し6

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<index.html - メモ帳>
[ファイル(E) | 編集(U) | 書式(O) | 表示(V) | ヘルプ(H)]
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題8</title>
</head>
<body>
<h1>月</h1>
<h2>火星</h2>
<h3>水星</h3>
<h4>木星</h4>
<h5>金星</h5>
<h6>土星</h6>
<p>太陽</p>
</body>
</html>
```

*ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



 文字列を強調する

文字列を強調します。通常、ブラウザでは、～で囲まれた文字列は斜体で表示されます。



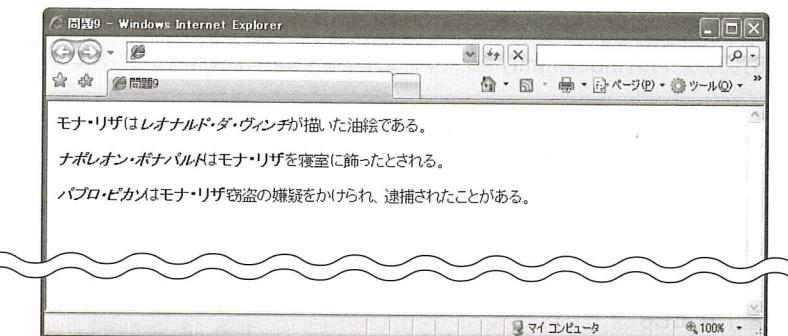
 文字列をより強く強調する

文字列をより強く強調します。通常、ブラウザでは、～で囲まれた文字列は太字で表示されます。em要素もstrong要素も文字列を強調しますが、strong要素の方がより強い強調を意味します。

問題9

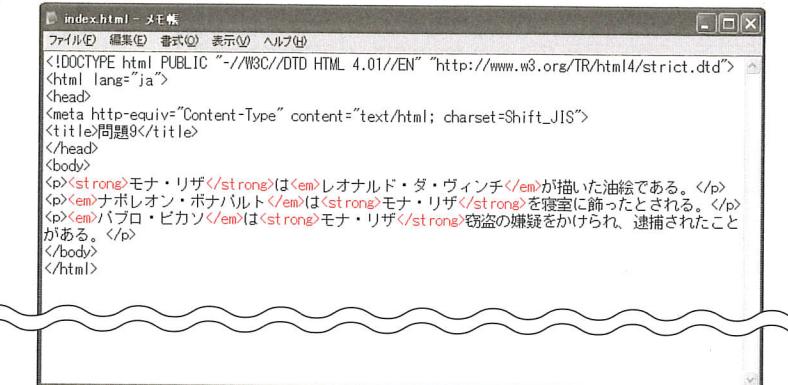
フォルダ「問題9」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「レオナルド・ダ・ヴィンチ」「ナポレオン・ボナパルト」「パブロ・ピカソ」をそれぞれ強調しなさい。また、文字列「モナ・リザ」(3か所)をそれより強く強調しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。



※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point!

b要素

 文字列を太字にする

～で囲まれた文字列を太字にします。

見栄えに関するタグなので、CSSで記述する方が適切です。

i要素

<i> </i> 文字列を斜体にする

<i>～</i>で囲まれた文字列を斜体にします。

見栄えに関するタグなので、CSSで記述する方が適切です。

Chapter

2

STEP4

イメージ／マルチメディア



 イメージ(画像)を挿入する

イメージ(画像)を挿入します。img要素は単独で使わず、src属性とセットで使います。img要素は空要素なので、終了タグは記述しません。

src属性には、挿入するイメージのパスを記述します。同一のWebサイト内のファイルの場所は、一般的に相対パスで指定します。

また、img要素はインライン要素なので、プロックレベル要素の中に記述します。

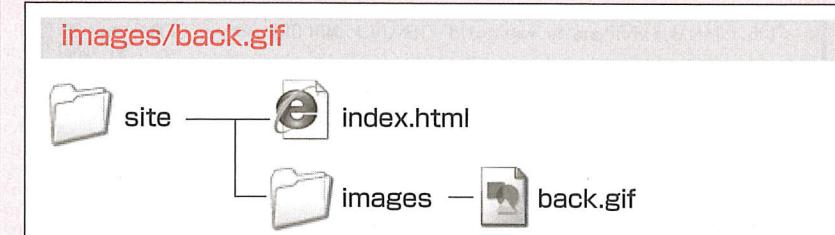
Point! 相対パスによるファイルの指定

相対パスは、作成しているHTMLファイルが保存されているフォルダを基準に、ファイルを指定する方法です。たとえば、次のようなWebサイトで、フォルダ「site」内のWebページ「index.html」を基準とした場合、イメージ「back.gif」を指定する方法は次のとおりです。

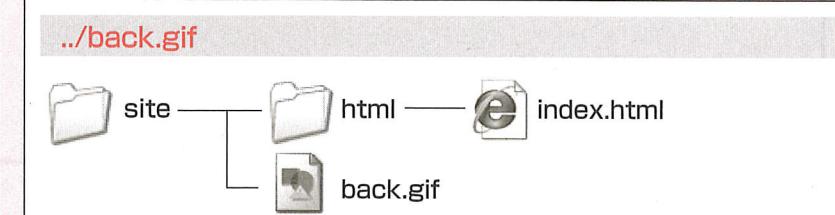
●同じ階層にあるイメージを指定



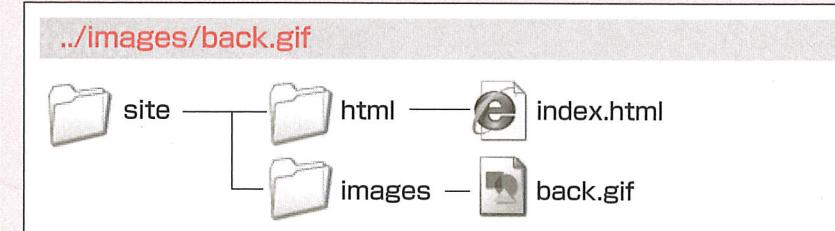
●同じ階層のフォルダ「images」にあるイメージを指定



●ひとつ上の階層にあるイメージを指定



●ひとつ上の階層のフォルダ「images」にあるイメージを指定



問題10

フォルダ「問題10」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、見出し1「我が家の愛犬」の下にフォルダ「images」内のイメージ「dog.jpg」を挿入しなさい。

イメージはp要素の子要素にすること。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
[ファイル] [編集] [書式] [表示] [ヘルプ]
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題10</title>
</head>
<body>
<h1>我が家の愛犬</h1>
<p></p>
<p>名前は「もぐら」、オス3歳です。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

解説

 イメージの代替文字を指定する

イメージの代替文字を指定します。代替文字はブラウザでイメージが表示できない場合に、代わりに表示される文字列です。代替文字は音声ブラウザで読み上げられます。また、ブラウザ上でイメージにマウスポインタを合わせると、ポップヒントとして代替文字が表示されます。

問題11

フォルダ「問題11」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

代替文字	愛犬の写真
------	-------

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
[ファイル] [編集] [書式] [表示] [ヘルプ]
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題11</title>
</head>
<body>
<h1>我が家の愛犬</h1>
<p></p>
<p>名前は「もぐら」、オス3歳です。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 代替文字の役割

代替文字には、イメージが表示できない場合に代わりに、表示される文字列を指定します。

HTML4.01ではalt属性は必ず指定する決まりになっています。近くに同意の文字列が表示されているイメージや、装飾のためだけに使われているイメージは、「alt=""」として値を空にします。



```

```

イメージの幅と高さを指定する

表示するイメージの幅や高さをピクセル数、またはウィンドウのサイズに対する割合(%)で指定します。width属性やheight属性を指定しておくと、Webページの読み込み時にレイアウトが崩れるのを防ぐことができます。

問題12

フォルダ「問題12」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、``タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

イメージの幅	300ピクセル
イメージの高さ	215ピクセル

`<仕上がりイメージ>`



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題12</title>
</head>
<body>
<h1>我が家の愛犬</h1>
<p></p>
<p>名前は「もぐら」、オス3歳です。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

※編集前と編集後の表示に変化はありません。

Chapter 2

STEP5 リスト



` ` 行頭記号付きリストを作成する

文字列を行頭記号の付いたリスト(箇条書き)にします。リスト全体の開始位置に``、終了位置に``を記述します。`ul`要素は単独で使わず、`li`要素とセットで使います。`ul`要素は通常、ブラウザで先頭に記号が付き、インデント(字下げ)されて表示されます。



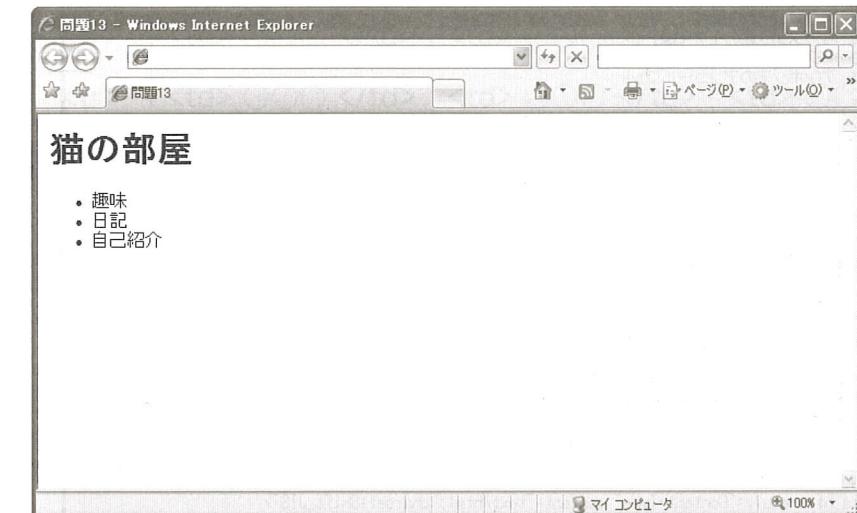
` ` リストの項目を作成する

リストのひとつひとつの項目を作成します。`～`間に項目ごとに`～`で囲みます。

問題13

フォルダ「問題13」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「趣味」「日記」「自己紹介」を行頭記号付きリストに設定しなさい。次に、文字列「趣味」「日記」「自己紹介」をそれぞれリストの項目に設定しなさい。

`<仕上がりイメージ>`



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題13</title>
</head>
<body>
<h1>猫の部屋</h1>
<ul>
<li>趣味</li>
<li>日記</li>
<li>自己紹介</li>
</ul>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



 行頭番号付きリストを作成する

文字列を行頭番号の付いたリスト(箇条書き)にします。リスト全体の開始位置に、終了位置にを記述します。ol要素は単独で使わず、li要素とセットで使います。ol要素は通常、ブラウザで先頭に番号が付き、インデント(字下げ)されて表示されます。



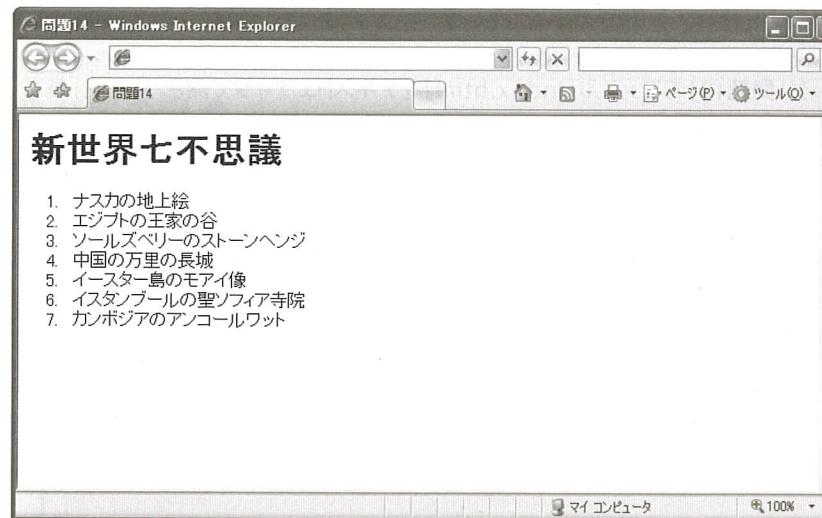
 リストの項目を作成する

リストのひとつひとつの項目を作成します。～間を項目ごとに～で囲みます。

問題14

フォルダ「問題14」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「ナスカの地上絵」～「カンボジアのアンコールワット」を行頭番号付きリストに設定しなさい。次に、文字列「ナスカの地上絵」～「カンボジアのアンコールワット」をそれぞれリストの項目に設定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 備考(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題14</title>
</head>
<body>
<h1>新世界七不思議</h1>
<ol>
<li>ナスカの地上絵</li>
<li>エジプトの王家の谷</li>
<li>ソールズベリーのストーンヘンジ</li>
<li>中国の万里の長城</li>
<li>イースター島のモアイ像</li>
<li>イスタンブールの聖ソフィア寺院</li>
<li>カンボジアのアンコールワット</li>
</ol>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Chapter
2STEP6
作表

<table> </table> テーブルを作成する

テーブル(表)を作成します。テーブルの開始位置に<table>、終了位置に</table>を記述します。



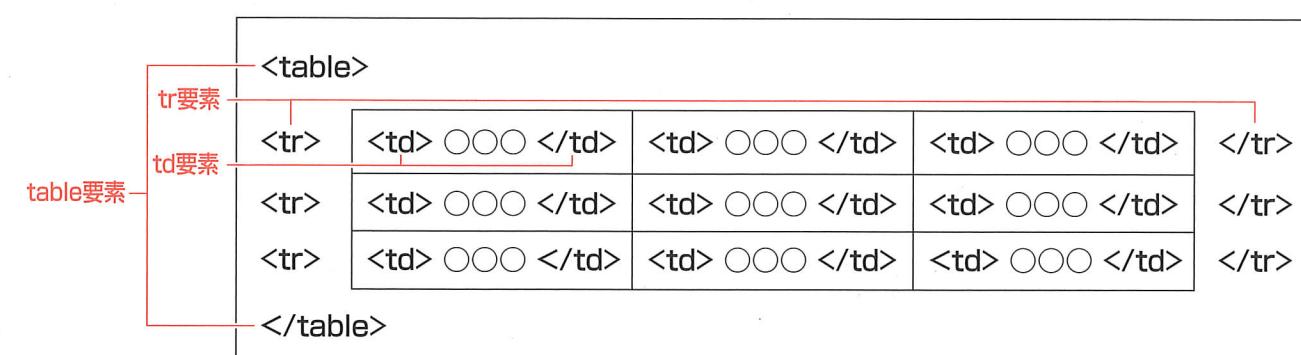
<tr> </tr> 行を作成する

行を作成します。<table>～</table>間で、行の開始位置に<tr>、終了位置に</tr>を記述します。



<td> </td> セルを作成する

セルを作成します。<tr>～</tr>間で、セルの開始位置に<td>、終了位置に</td>を記述します。



概要

1

2

3

4

模擬試験

付録1

付録2

索引

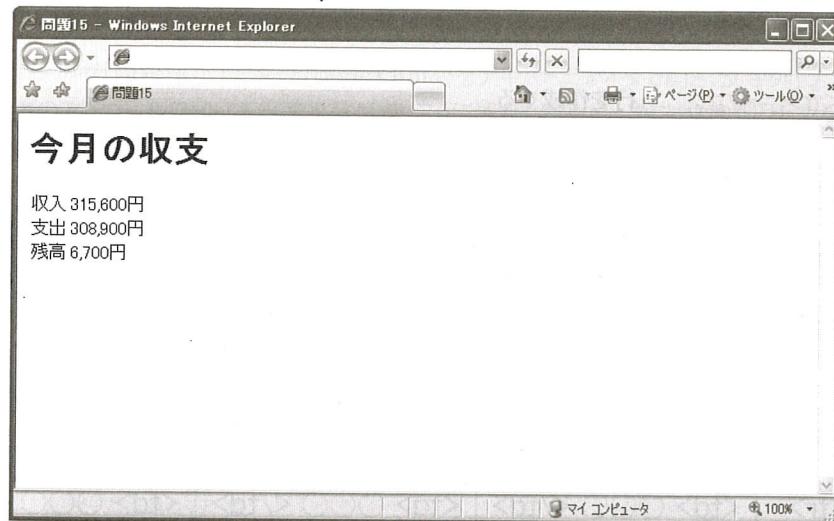
問題15

フォルダ「問題15」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、見出し1「今月の収支」の下に3行×2列のテーブルを作成しなさい。

次に、作成したテーブルのセルに以下の文字列を入力しなさい。

収入	315,600円
支出	308,900円
残高	6,700円

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題15</title>
</head>
<body>
<h1>今月の収支</h1>
<table>
<tr><td>収入</td><td>315,600円</td></tr>
<tr><td>支出</td><td>308,900円</td></tr>
<tr><td>残高</td><td>6,700円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



<table border="数値"> </table> テーブルの外枠線の太さを指定する

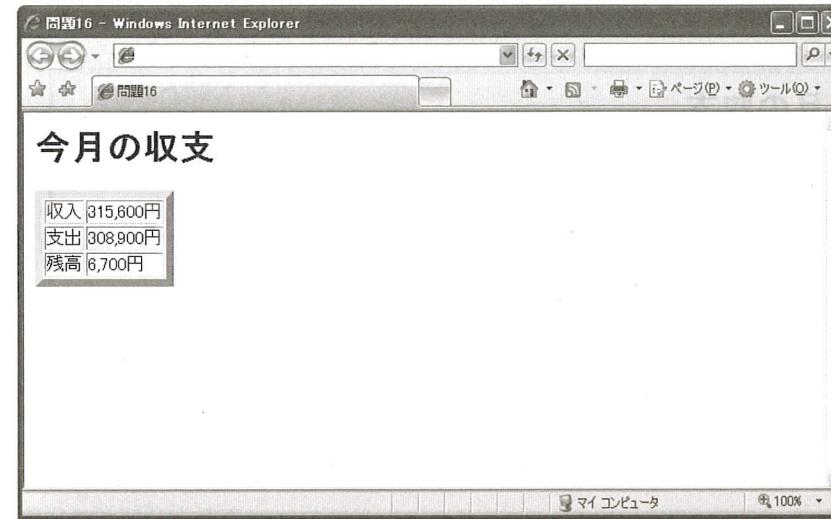
テーブルの外枠線の太さをピクセル数で指定します。border属性を指定すると、テーブル内の枠線も表示されます。

問題16

フォルダ「問題16」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、<table>タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

テーブルの外枠線の太さ	7ピクセル
-------------	-------

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題16</title>
</head>
<body>
<h1>今月の収支</h1>
<table border="7">
<tr><td>収入</td><td>315,600円</td></tr>
<tr><td>支出</td><td>308,900円</td></tr>
<tr><td>残高</td><td>6,700円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



<table width="数値"> </table> テーブル全体の幅を指定する

テーブルの幅をピクセル数、またはウィンドウのサイズに対する割合(%)で指定します。

問題17

フォルダ「問題17」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、`<table>`タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

テーブルの幅	200ピクセル
--------	---------

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題17</title>
</head>
<body>
<h1>今月の収支</h1>
<table border="3" width="200">
<tr><td>収入</td><td>315,600円</td></tr>
<tr><td>支出</td><td>308,900円</td></tr>
<tr><td>残高</td><td>6,700円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



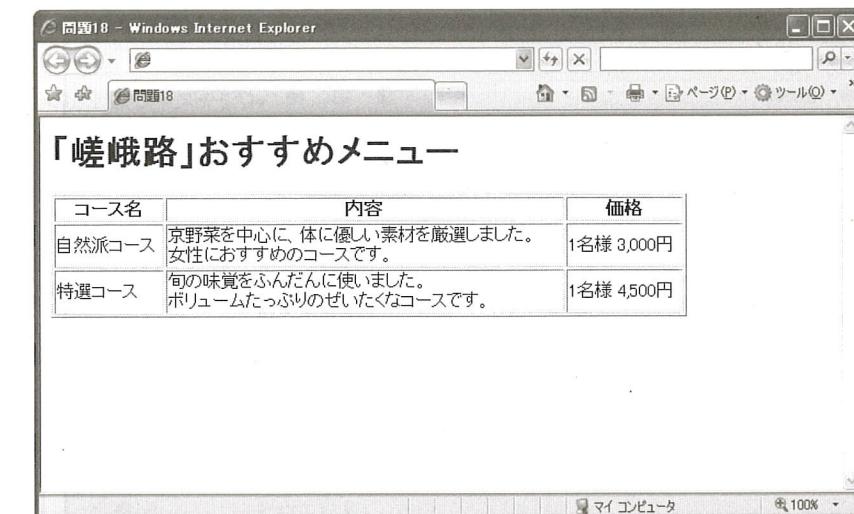
<th> </th> 見出しセルを作成する

見出しセルを作成します。見出しセルにするには、`<td>～</td>`の代わりに`<th>～</th>`を記述します。`th`要素は通常、ブラウザでセル内の中央に太字で表示されます。

問題18

フォルダ「問題18」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、テーブルの1行目に見出しセルを追加しなさい。追加した見出しセルに文字列「コース名」「内容」「価格」を入力しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題18</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<table border="1" width="580">
<tr><th>コース名</th><th>内容</th><th>価格</th></tr>
<tr><td>自然派コース</td><td>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。 女性におすすめのコースです。</td><td>1名様 3,000円</td></tr>
<tr><td>特選コース</td><td>旬の味覚をふんだんに使いました。 ポリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</td><td>1名様 4,500円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



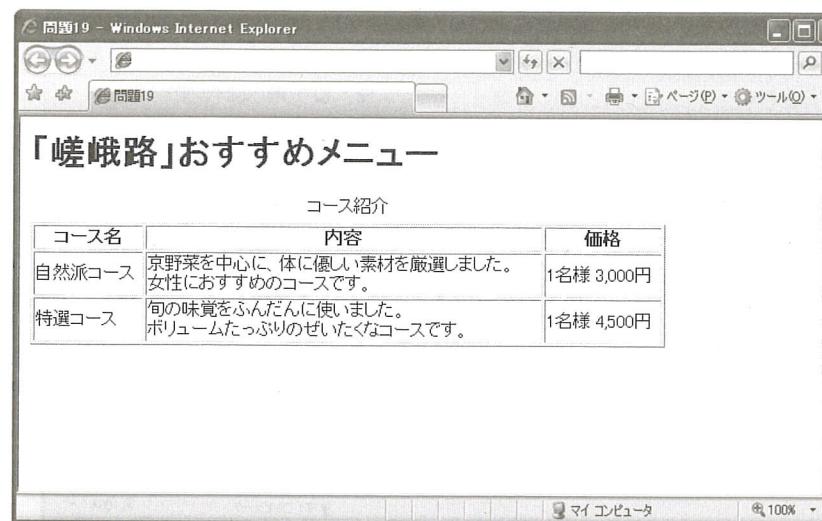
<caption> </caption> テーブルのタイトルを設定する

テーブルのタイトルを設定します。caption要素は、table要素の開始タグ<table>の次に記述します。caption要素は通常、ブラウザでテーブルの上中央に表示されます。

問題19

フォルダ「問題19」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、テーブルのタイトルとして文字列「コース紹介」を追加しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題19</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<table border="1" width="580">
<caption>コース紹介</caption>
<tr><th>コース名</th><th>内容</th><th>価格</th></tr>
<tr><td>自然派コース</td><td>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。  
女性におすすめのコースです。<br><br><td>1名様 3,000円</td></tr>
<tr><td>特選コース</td><td>旬の味覚をふんだんに使いました。  
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。<br><br><td>1名様 4,500円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



<td align="位置"> </td> セル内容の水平方向位置を指定する(セル単位)

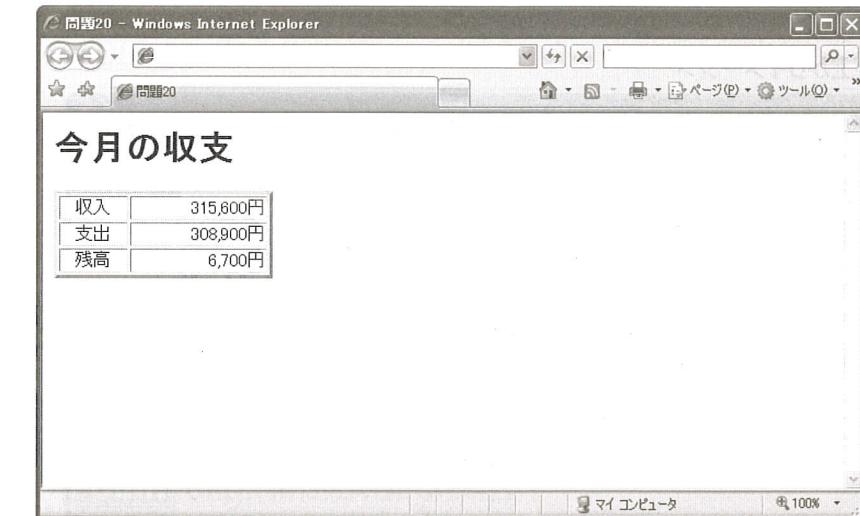
セル内の文字列やイメージの水平方向位置をセル単位で指定します。水平方向位置は、「left」(左揃え)、「center」(中央揃え)、「right」(右揃え)で指定します。

問題20

フォルダ「問題20」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、<td>タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

1列目の水平方向位置	中央
2列目の水平方向位置	右

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題20</title>
</head>
<body>
<h1>今月の収支</h1>
<table border="1" width="200">
<tr><td align="center">収入</td><td align="right">315,600円</td></tr>
<tr><td align="center">支出</td><td align="right">308,900円</td></tr>
<tr><td align="center">残高</td><td align="right">6,700円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



<td valign="位置"> </td> セル内容の垂直方向位置を指定する(セル単位)

セル内の文字列やイメージの垂直方向位置をセル単位で指定します。

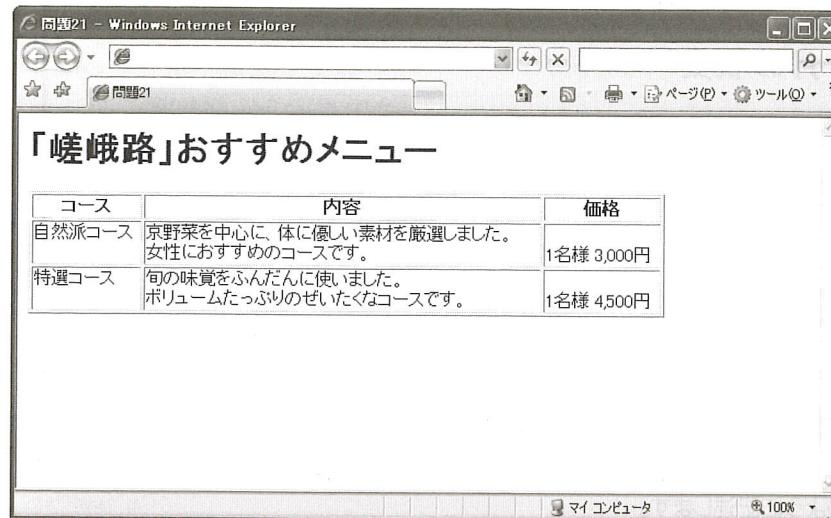
垂直方向位置は、"top"(上)、"middle"(中央)、"bottom"(下)で指定します。

問題21

フォルダ「問題21」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、<td>タグの属性の設定に以下を追加しなさい。

文字列「自然派コース」の垂直方向位置	上
文字列「特選コース」の垂直方向位置	上
文字列「1名様 3,000円」の垂直方向位置	下
文字列「1名様 4,500円」の垂直方向位置	下

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd"
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題21</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<table border="1" width="580">
<tr><th>コース</th><th>内容</th><th>価格</th></tr>
<tr><td align="top">自然派コース</td><td>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。  
女性におすすめのコースです。</td><td align="bottom">1名様 3,000円</td></tr>
<tr><td align="top">特選コース</td><td>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</td><td align="bottom">1名様 4,500円</td></tr>
</table>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! tr要素の属性

<tr align="位置"> </tr> セル内容の水平方向位置を指定する(行単位)

セル内の文字列やイメージの水平方向位置を行単位で指定します。

水平方向位置は、"left"(左揃え)、"center"(中央揃え)、"right"(右揃え)で指定します。

<tr valign="位置"> </tr> セル内容の垂直方向位置を指定する(行単位)

セル内の文字列やイメージの垂直方向位置を行単位で指定します。

垂直方向位置は、"top"(上)、"middle"(中央)、"bottom"(下)で指定します。

Point! th要素の属性

<th align="位置"> </th> 見出しセルの内容の水平方向位置を指定する

見出しセル内の文字列やイメージの水平方向位置を指定します。

水平方向位置は、"left"(左揃え)、"center"(中央揃え)、"right"(右揃え)で指定します。

<th valign="位置"> </th> 見出しセルの内容の垂直方向位置を指定する

見出しセル内の文字列やイメージの垂直方向位置を指定します。

水平方向位置は、"top"(上)、"middle"(中央)、"bottom"(下)で指定します。

Point! align属性とvalign属性

align属性は水平方向位置、valign属性は垂直方向位置をそれぞれ指定しますが、見栄えに関するタグなので、CSSで記述する方が適切です。

Chapter 2

STEP7 リンク



 ファイルへのリンクを設定する

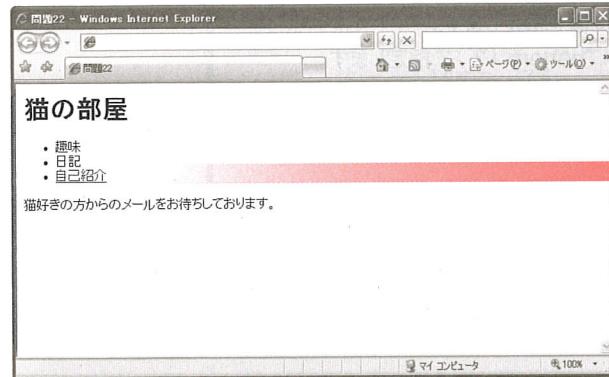
ファイルへのリンクを設定します。a要素は単独で使わず、href属性やname属性とセットで使います。href属性にはリンク先のファイルのパスを記述します。同一のWebサイト内のファイルの場所は、一般的に相対パスで指定します。
※「相対パス」については、P.40を参照してください。

問題22

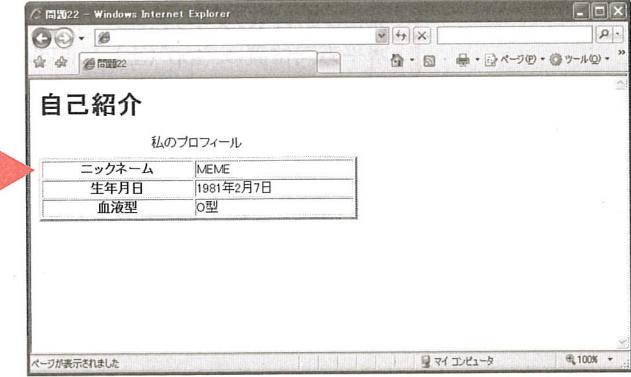
フォルダ「問題22」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「自己紹介」にファイル「profile.html」へのリンクを設定しなさい。

<仕上がりイメージ>

index.html



profile.html



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題22</title>
</head>
<body>
<h1>猫の部屋</h1>
<ul>
<li>趣味</li>
<li>日記</li>
<li><a href="profile.html">自己紹介</a></li>
</ul>
<p>猫好きの方からのメールをお待ちしております。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



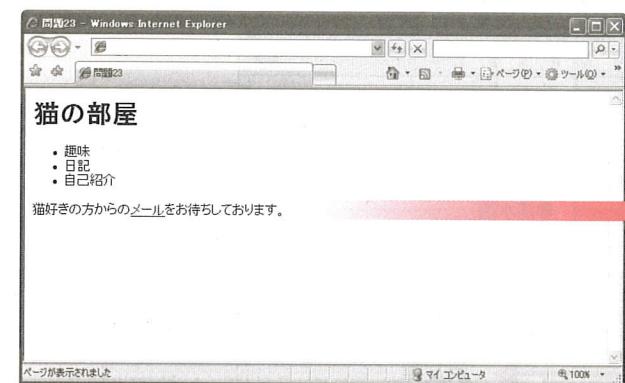
 メールアドレスへのリンクを設定する

メールアドレスへのリンクを設定します。「mailto:」に続けて、宛先となるメールアドレスを指定します。メールアドレスへのリンクを設定すると、文字列やイメージをクリックするだけでメールソフトのメッセージ作成画面が表示されます。メッセージ作成画面の宛先には、指定したメールアドレスが自動的に表示されます。

問題23

フォルダ「問題23」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文字列「メール」をクリックしたときに、メールアドレス「abc@fom」にメールが送られるように設定しなさい。
※ただし、メールアドレスは仮想のものです。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題23</title>
</head>
<body>
<h1>猫の部屋</h1>
<ul>
<li>趣味</li>
<li>日記</li>
<li><a href="mailto:abc@fom">メール</a></li>
</ul>
<p>猫好きの方からの<a href="mailto:abc@fom">メール</a>をお待ちしております。</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 別のWebサイトへのリンク

別のWebサイトへのリンクを設定するには、href属性にURLを記述します。

 別のWebサイトへのリンクを設定する

【例】FOM出版



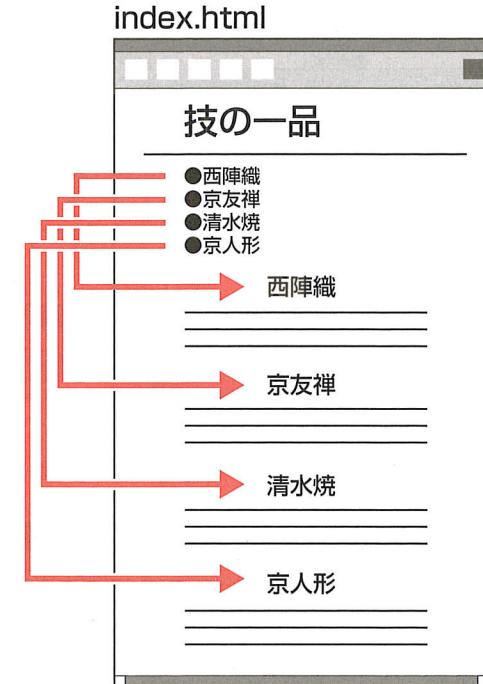
` ` マーカーを設定する

Webページ内の特定の場所に、マーカー(目印となる名前)を設定します。
マーカーを設定すると、マーカーへのリンクを設定できます。



` ` 同一のWebページにあるマーカーへのリンクを設定する

同一のWebページにあるマーカーへのリンクを設定します。
マーカーを設定したWebページとリンクを設定するWebページが同一ファイルの場合、リンク先に"#マーカー名"のように記述します。



` `

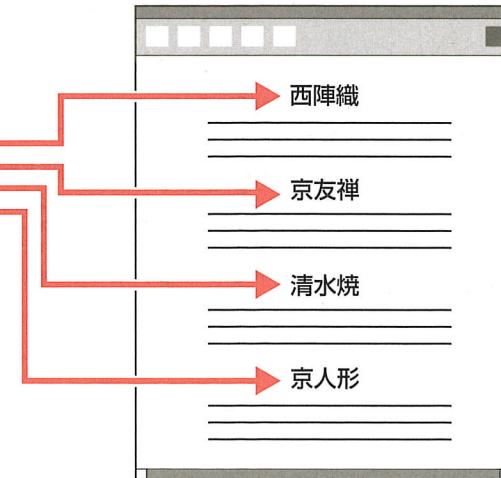
異なるWebページにあるマーカーへのリンクを設定する

異なるWebページにあるマーカーへのリンクを設定します。
マーカーを設定したWebページとリンクを設定するWebページが異なるファイルの場合、リンク先に"ファイルのパス#マーカー名"のように記述します。

index.html



link.html



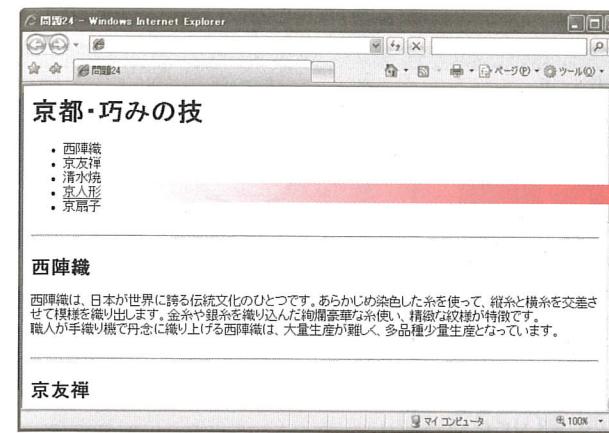
問題24

フォルダ「問題24」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、見出し2の文字列「京人形」に「doll」の名前でマーカーを設定しなさい。

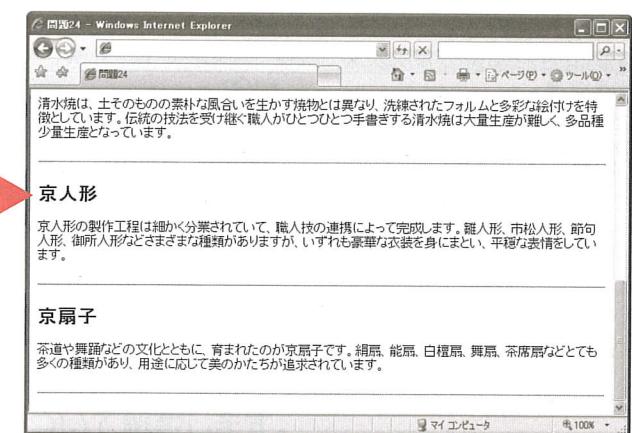
次に、リスト項目の文字列「京人形」にマーカー「doll」へのリンクを設定しなさい。

<仕上がりイメージ>

index.html



マーカー「doll」へリンク



解答

次のように記述します。

```

<index.html - メモ帳>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題24</title>
</head>
<body>
<h1>京都・巧みの技</h1>
<ul>
<li>西陣織</li>
<li>京友禅</li>
<li>清水焼</li>
<li><a href="#doll">京人形</a></li>
<li>京扇子</li>
</ul>
<h2>西陣織</h2>
<p>西陣織は、日本が世界に誇る伝統文化のひとつです。あらかじめ染色した糸を使って、縦糸と横糸を交差させて模様を織り出します。金糸や銀糸を織り込んだ絢爛豪華な糸使い、精緻な紋様が特徴です。職人が手織り機で丹念に織り上げる西陣織は、大量生産が難しく、多品種少量生産となっています。<br></p>
<h2>京友禅</h2>
<p>「織り」の西陣、「染め」の友禅といわれ、西陣織と並んで日本の伝統文化を代表するものひとつです。<br>京友禅は完成までに何人の職人の手をくぐった末、やっと生まれ出される職人技の結集です。布地に直接模様を手書きする「手描き友禅」と紙型を使って模様を写し染める「型友禅」がありますが、いずれも高雅で、織細で、美しい染め模様が特徴です。</p>
<h2>清水焼</h2>
<p>清水焼は、土そのものの素朴な風合いを生かす焼物とは異なり、洗練されたフォルムと多彩な絵付けを特徴としています。伝統の技法を受け継ぐ職人がひとつひとつ手書きする清水焼は大量生産が難しく、多品種少量生産となっています。</p>
<h2><a name="doll">京人形</a></h2>
<p>京人形の製作工程は細かく分業されていて、職人技の連携によって完成します。雛人形、市松人形、節句人形、御所人形などさまざまな種類がありますが、いずれも豪華な衣装を身にまとい、平穏な表情をしています。</p>
<h2>京扇子</h2>
<p>茶道や舞踊などの文化とともに、育まれたのが京扇子です。絹扇、能扇、白檀扇、舞扇、茶席扇などでも多くの種類があり、用途に応じて美のかたちが追求されています。</p>
</body>
</html>
  
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

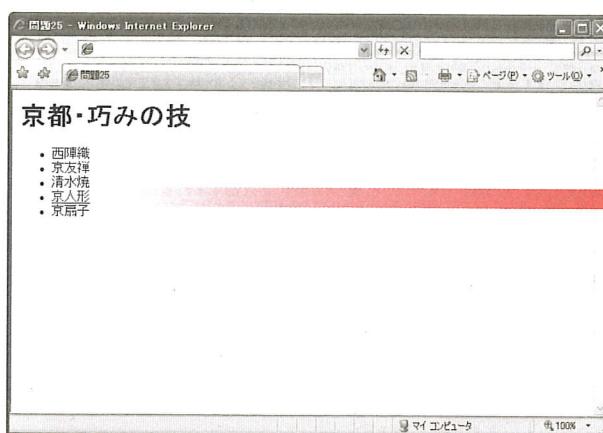
問題25

フォルダ「問題25」のファイル「list.html」をテキストエディタで開き、マーカーを設定しなさい。

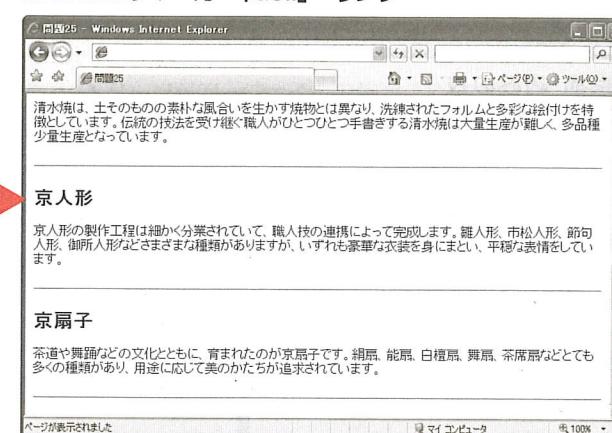
次に、ファイル「index.html」をテキストエディタで開き、文書内にマーカーを設置した「list.html」のマークをリンクして、マーカー「doll」へのリンクを設定しなさい。

<仕上がりイメージ>

index.html



list.htmlのマーカー「doll」へリンク



解答

次のように記述します。

●list.html

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題25</title>
</head>
<body>
<h1>京都・巧みの技</h1>
<h2>西陣織</h2>
<hr>
<h2><a name="doll">京人形</a></h2>
<p>京人形の製作工程は細かく分業されていて、職人技の連携によって完成します。雛人形、市松人形、節句人形、御所人形などさまざまな種類がありますが、いずれも豪華な衣装を身にまとい、平穏な表情をしています。</p>
<hr>
<h2>京扇子</h2>
<p>茶道や舞踊などの文化とともに、育まれたのが京扇子です。絹扇、能扇、白檀扇、舞扇、茶席扇などとても多くの種類があり、用途に応じて美のかたちが追求されています。</p>
<hr>
</body>
</html>
```

●index.html

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<title>問題25</title>
</head>
<body>
<h1>京都・巧みの技</h1>
<ul>
<li>西陣織</li>
<li>京友禅</li>
<li>清水焼</li>
<li><a href="#list.html#doll">京人形</a></li>
<li>京扇子</li>
</ul>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Chapter
3■ 第3章 ■
CSSの基本

CSSの記述方法について解説します。

1 スタイルの適用方法

フォントやフォントサイズ、背景、行間隔、文字間隔、余白など見栄えに関する書式を「スタイル」といいます。

CSSを記述して、HTMLファイルにスタイル(見栄えに関する書式)を適用する方法には、主に次の2つがあります。

- 同一の要素すべてに同じスタイルを適用する
- 部分的にスタイルを適用する

① 同一の要素すべてに同じスタイルを適用する

HTMLファイルに含まれるすべてのh2要素のフォントサイズを大きくする、HTMLファイルに含まれるp要素の行間隔を広げるなど、同一の要素すべてに同じスタイルを適用する場合、次のようにCSSを記述します。

【例】すべてのp要素の文字色を赤色にする

CSS

```
p{color:#ff0000}
```

要素

HTML

```
<html>
<head>
<title>スタイルの適用</title>
</head>
<body>
<p>昨日は雨でした。</p>
<p>今日は曇りです。</p>
<p>明日は晴れるでしょう。</p>
</body>
</html>
```

p要素の文字色が赤色になる

*colorは文字色を指定するプロパティです。

② 部分的にスタイルを適用する

HTMLファイルに含まれる複数のp要素のうち一部のp要素だけ色を変更する、HTMLファイルのある範囲からある範囲までに背景色を付けるなど、部分的にスタイルを適用する場合、「クラス」を使います。

クラスを使って部分的にスタイルを適用する場合、次のようにCSSとHTMLを記述します。CSSでクラスを定義して、HTMLでclass属性にクラス名を記述します。定義するクラスは、先頭に「.(ピリオド)」を付けます。

【例】一部のp要素だけ、文字色を赤色にする

CSS

```
.today{color:#ff0000}
```

クラス

HTML

```
<html>
<head>
<title>スタイルの適用</title>
</head>
<body>
<p>昨日は雨でした。</p>
<p class="today">今日は曇りです。</p> •----- このp要素だけ文字色が赤色になる
<p>明日は晴れるでしょう。</p>
</body>
</html>
```

クラス名
class属性

2 CSSの記述方法

CSSの基本的な記述方法を確認しましょう。

【例】すべてのp要素の文字色を赤色にする

```
p{color:#ff0000;}
```

セレクタ プロパティ 値

【例】一部のp要素だけ、文字色を赤色にする

```
.today{color:#ff0000;}
```

セレクタ プロパティ 値

●セレクタ

スタイルを適用する対象を「セレクタ」といいます。

要素やクラスがセレクタです。

●プロパティ

スタイルの属性を「プロパティ」といいます。

●値

プロパティは「値」を伴います。

プロパティと値は「:(コロン)」で区切ります。

Point! スタイル適用の応用

●ひとつのセレクタに複数のスタイルを適用する

ひとつのセレクタに複数のスタイルを適用する場合、「;(セミコロン)」で区切って記述します。

【例】h1要素の文字色を青色、フォントサイズを14ポイントにする

```
h1{color:#0000ff;font-size:14pt;}
```

●複数のセレクタに同じスタイルを適用する

複数のセレクタに同じスタイルを適用する場合、セレクタとセレクタを「,(カンマ)」で区切って記述します。

【例】h1要素とp要素の文字色を青色にする

```
h1,p{color:#0000ff;}
```

●要素を絞り込んでスタイルを適用する

親要素の中の特定の子要素だけにスタイルを適用する場合、半角空白で区切って記述します。

【例】p要素内のem要素の文字色を青色にする

```
p em{color:#0000ff;}
```

3 CSSの記述場所

CSSを記述する場所には、主に次の2つがあります。

●CSSファイルに記述する

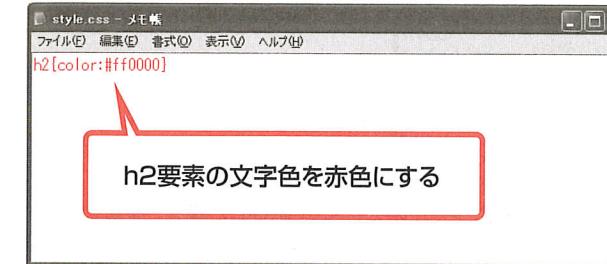
●HTMLファイル内に記述する

① CSSファイルに記述する

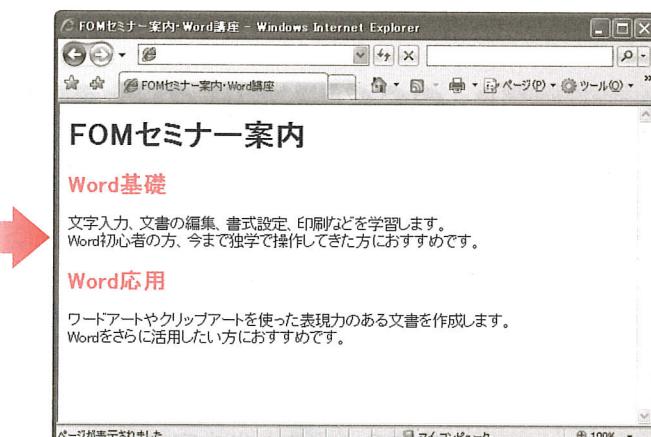
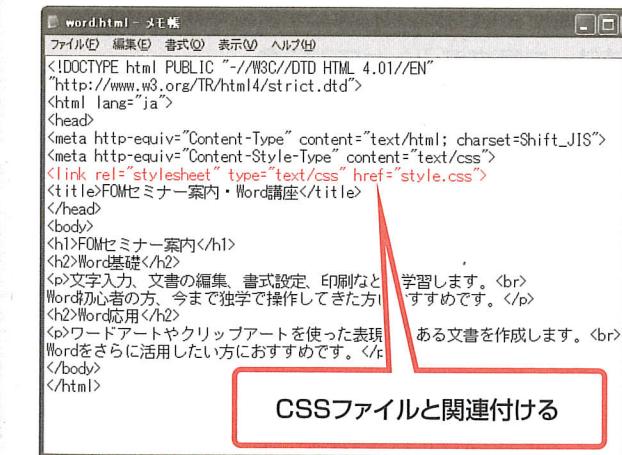
「CSSファイル」とは、HTMLファイルとは分離してCSSだけをまとめて記述したファイルで、拡張子は「css」です。CSSファイルは、HTMLファイル同様、メモ帳などのテキストエディタで記述します。

HTMLファイルとCSSファイルを関連付けることにより、Webページ全体にスタイルが適用されます。複数のWebページでデザインを統一する場合に便利な方法です。

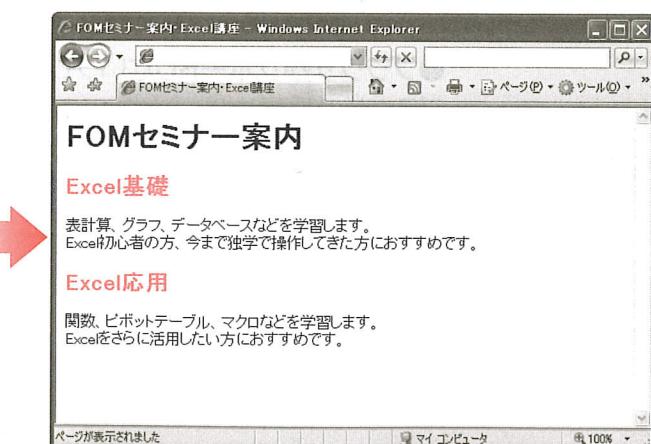
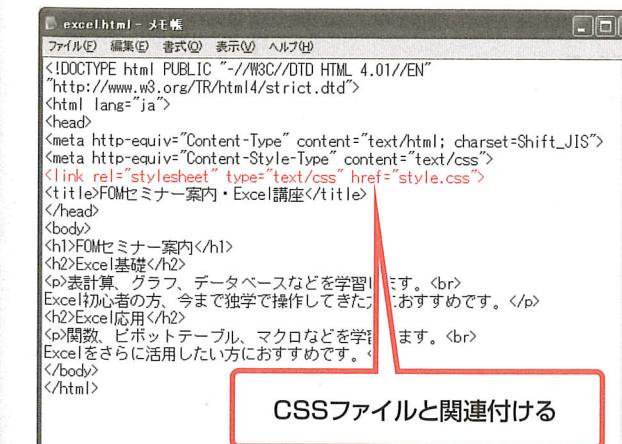
style.css



word.html

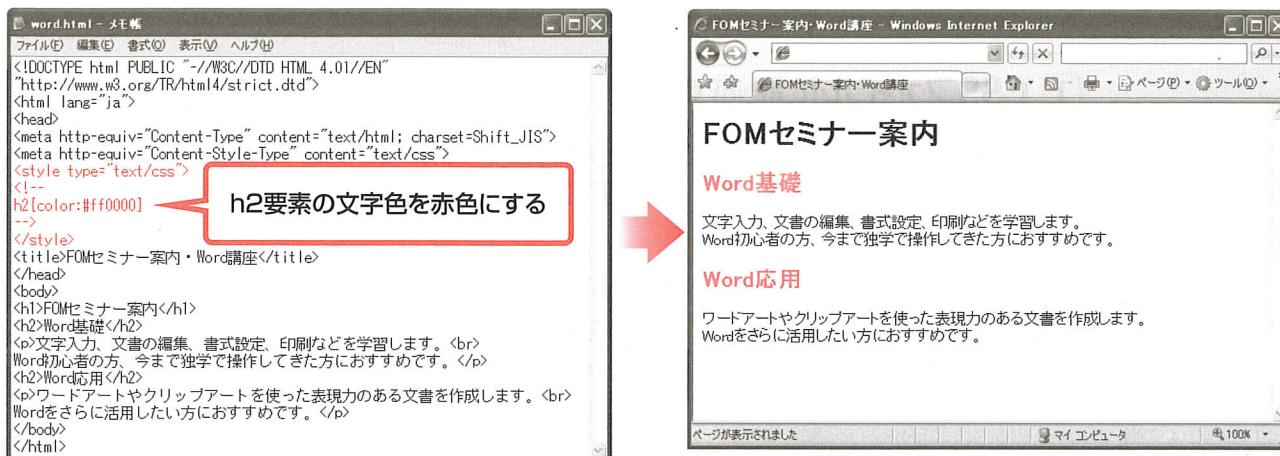


excel.html



2 HTMLファイル内に記述する

HTMLファイルの<head>～</head>間にCSSを記述します。CSSを記述したそのHTMLファイルだけにスタイルが適用されます。ひとつのWebページだけ特定のデザインにする場合に便利な方法です。



Point! スタイル適用の優先順位

HTMLファイルにCSSファイルを関連付け、さらにそのHTMLファイル内にCSSを記述した場合、後者のスタイルの方が優先して適用されます。

4 CSS記述時の注意点

CSSを記述するときは、次のような点に注意します。

●半角で入力する

必ず半角で記述します。全角で記述してはいけません。

●大文字・小文字の区別はない

英字の大文字と小文字の区別はありません。どちらで入力してもかまいません。

ただし、フォント名やURLなどは本来の通りに記述します。

●ブラウザがサポートしないプロパティがある

ブラウザの種類やバージョンによって、サポートしていないプロパティがあります。

ブラウザがサポートしていないプロパティは無視されて、Webページは正しく表示されません。

●HTMLファイル内にCSSを記述する場合、コメント扱いにする

HTMLファイル内にCSSを記述したWebページを、CSS未対応のブラウザで表示すると、CSSの記述部分がそのまま表示されてしまうことがあります。CSSの記述部分は「」で囲んでコメントとして扱うと、それを防ぐことができます。

①HTMLのコメント

HTMLの記述部分にコメントを入れるには、「」を使います。

「」で囲まれた文字列はブラウザに反映されないので、補足事項を入れる場合に使用します。

②CSSのコメント

CSSの記述部分にコメントを入れるには、「/*」～「*/」を使います。

「/*」～「*/」で囲まれた文字列はブラウザに反映されないので、補足事項を入れる場合に使用します。

```
①HTMLのコメント
②CSSのコメント
```

●CSSファイルで文字コードを指定する

CSSファイルの文字コードがブラウザで正しく判別できない場合、Webページが意図した通りに表示されない可能性があります。これを防ぐには、CSSファイルでも文字コードを指定しておく必要があります。

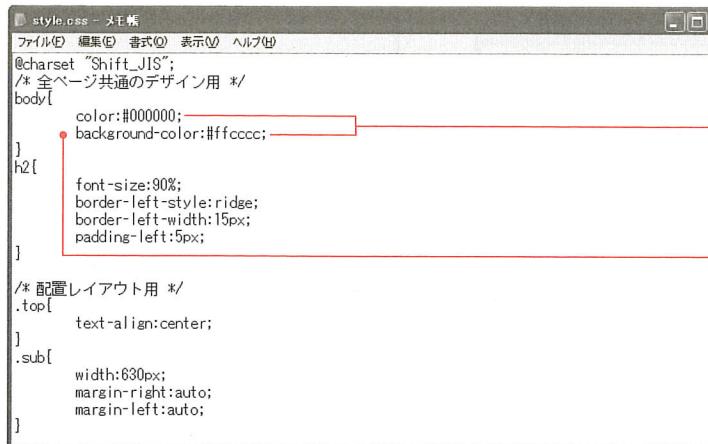
CSSファイルで文字コードを指定するには、1行目に「@charset "文字コード";」のように記述します。

```
文字コードを指定する
```

5 CSS記述方法の工夫

CSSの記述内容を読みやすくするために、改行・タブ・半角空白を適宜入れましょう。ブラウザでの表示に影響はありません。

本書では、スタイルごとに改行し、最後のスタイルにも「;(セミコロン)」を付けています。最後のスタイルにも「;(セミコロン)」を付けておくと、新しいスタイルを追加するときに付け忘れを防ぐことができます。



The screenshot shows a text editor window titled "style.css - メモ帳". The code is as follows:

```
charset 'Shift_JIS';
/* 全ページ共通のデザイン用 */
body{
    color:#000000;
    background-color:#ffcccc;
}
h2{
    font-size:90%;
    border-left-style:ridge;
    border-left-width:15px;
    padding-left:5px;
}
/* 配置レイアウト用 */
.top{
    text-align:center;
}
.sub{
    width:630px;
    margin-right:auto;
    margin-left:auto;
}
```

Two red arrows point to specific parts of the code with the following annotations:

- A red arrow points to the semicolon at the end of the "background-color" declaration in the "body" block, with the text "スタイルの終わりに ';' を付ける" (Add a semicolon at the end of the style).
- A red arrow points to the tab character before the "font-size" declaration in the "h2" block, with the text "タブを挿入する" (Insert a tab).

Chapter 4

■第4章■ CSSの記述

テキストエディタを使ってCSSを記述する方法を解説します。

出題範囲のCSSのプロパティを順番に学習します。

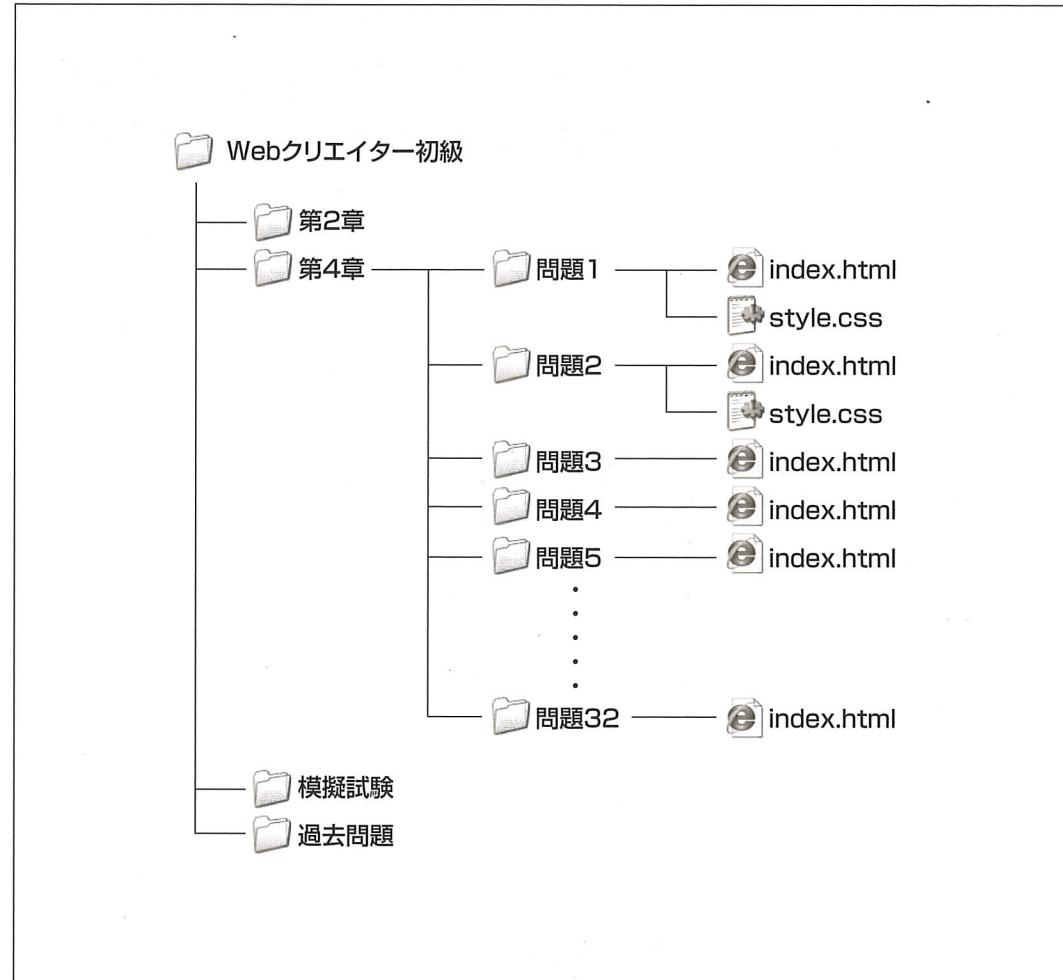
学習の前に.....	69
STEP1 スタイル関連のHTMLタグ	70
STEP2 テキスト	79
STEP3 フォント	83
STEP4 背景	88
STEP5 ボックス	94
STEP6 配置	103
STEP7 擬似クラス	107
STEP8 ID	108

1 データのセットアップ

この章で使用するファイルは、添付「データCD-ROM」に収録されています。学習の前にセットアップして、お使いのパソコンにファイルをコピーしておきましょう。

セットアップすると、指定した場所にフォルダ「Webクリエイター初級」が作成されます。この章では、フォルダ「第4章」を使用します。

※セットアップ方法については、P.3を参照してください。



```
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/css">
```

CSSの利用を明示する

スタイルシート言語としてCSSを利用していることを明示します。

http-equiv属性に"Content-Type"と記述し、content属性に"text/css"と記述します。

※「meta要素」については、P.34を参照してください。

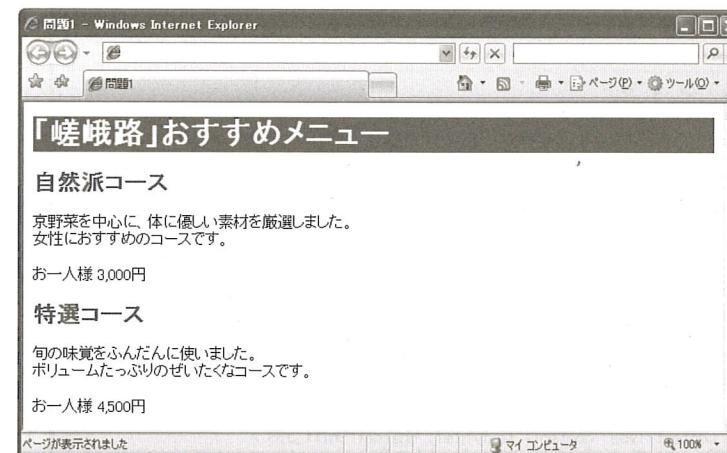
Point! スタイルシート言語

HTMLファイルやXMLファイルなどのスタイルを記述するための言語で、代表的なものにCSS (Cascading Style Sheets) やXSL(eXtensible Stylesheet Language)などがあります。一般的に、HTMLファイルはCSS、XMLファイルはXSLでスタイルを記述します。

問題 1

フォルダ「問題1」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、スタイルシート言語としてCSSを利用していることを明示しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//IETF//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/css">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="style.css">
<title>問題1</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのせいたぐなコースです。</p>
<p>お一人様4,500円</p>
</body>
</html>

```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

※編集前と編集後の表示に変化はありません。



```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="CSSファイルのパス">
```

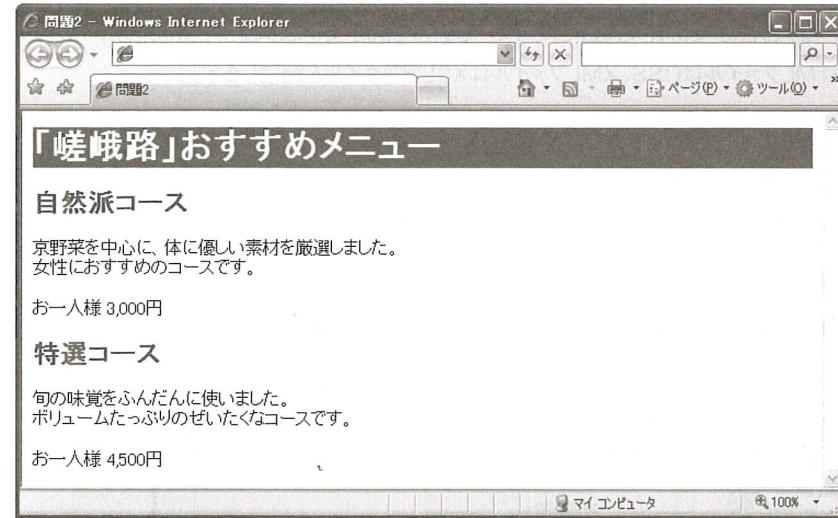
HTMLファイルにCSSファイルをリンクする

HTMLファイルにCSSファイルをリンクすることにより、CSSファイルに記述されているスタイルをHTMLファイルに適用します。link要素は、<head>～</head>間に記述します。
rel属性には、HTMLファイルからみたリンク先のファイルの関係を指定します。リンク先がCSSファイルの場合は、"stylesheet"と記述します。
type属性には、リンク先のファイルの種類を指定します。CSSファイルの場合は、"text/css"と記述します。
href属性には、リンクするCSSファイルのパスを指定します。同一のWebサイト内のファイルの場所は、一般的に相対パスで指定します。

※「相対パス」については、P.40を参照してください。

問題2

フォルダ「問題2」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、CSSファイル「style.css」への参照を設定しなさい。

仕上がりイメージ**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="style.css">
<title>問題2</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p>お一人様4,500円</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



```
<style type="text/css">セレクタ{プロパティ:値}</style>
```

HTMLファイルのスタイルを定義・適用する

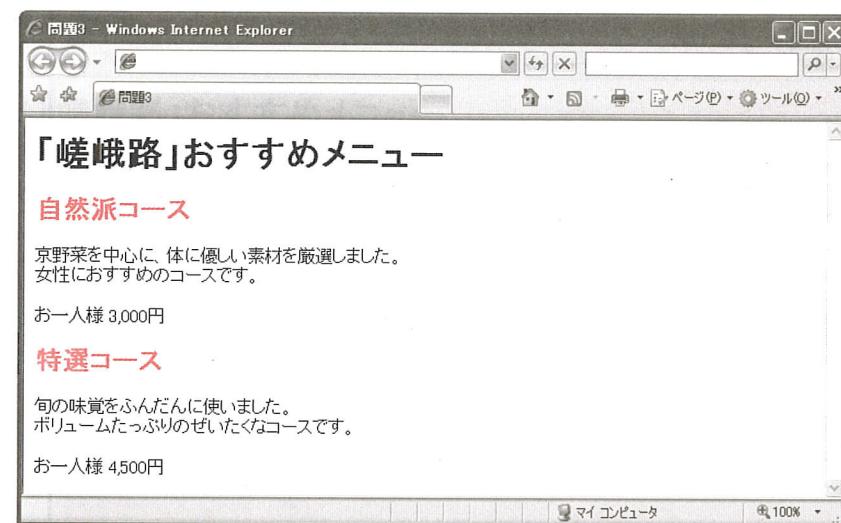
HTMLファイルの<head>～</head>間に、直接CSSを記述する場合に使用します。
type属性には、"text/css"と記述します。

<style>～</style>間にスタイルを定義すると、HTMLファイルにそのスタイルが適用されます。

問題3

フォルダ「問題3」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素を追加し、見出し2のスタイルとして「color:#ff0066」を記述しなさい。CSS未対応ブラウザでCSSの記述部分がそのまま表示されないように、CSSの記述部分をコメントにすること。

※「color:#ff0066」は、文字色をピンク色にするという意味です。

仕上がりイメージ**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h2{
    color:#ff0066;
}
-->
</style>
<title>問題3</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p>お一人様4,500円</p>
</body>
</html>
```

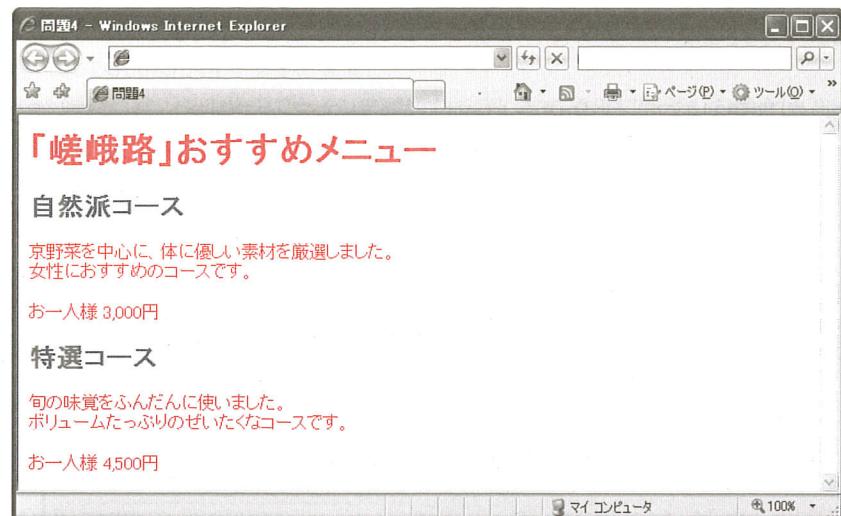
※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

問題4

フォルダ「問題4」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素に「h1」と「p」を追加し、スタイル「color:#333366」を記述しなさい。

※「color:#333366」は、文字色を紺色にするという意味です。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳





<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.h2{
    color:#ff0066;
}
h1,p{
    color:#333366;
}
-->
</style>
<title>問題4</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p>お一人様4,500円</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

解説

<要素名 class="クラス名"> </要素名> クラスで定義するスタイルを適用する

指定の要素にクラスのスタイルを適用します。

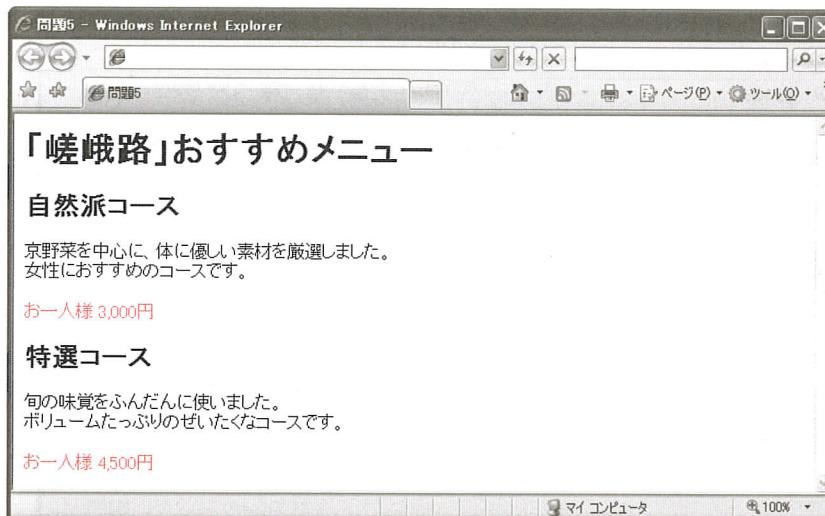
クラスはCSSファイルで定義するか、HTMLファイルの<head>～</head>間にstyle要素を使って定義します。

問題5

フォルダ「問題5」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「pink」を追加し、スタイル「color:#ff0066」を記述しなさい。次に、段落「お一人様 3,000円」と「お一人様 4,500円」にクラス「pink」を設定しなさい。

※「color:#ff0066」は、文字色をピンク色にするという意味です。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳





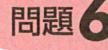
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.pink{
    color:#ff0066;
}
-->
</style>
<title>問題5</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京野菜を中心に、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p class="pink">お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p class="pink">お一人様4,500円</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



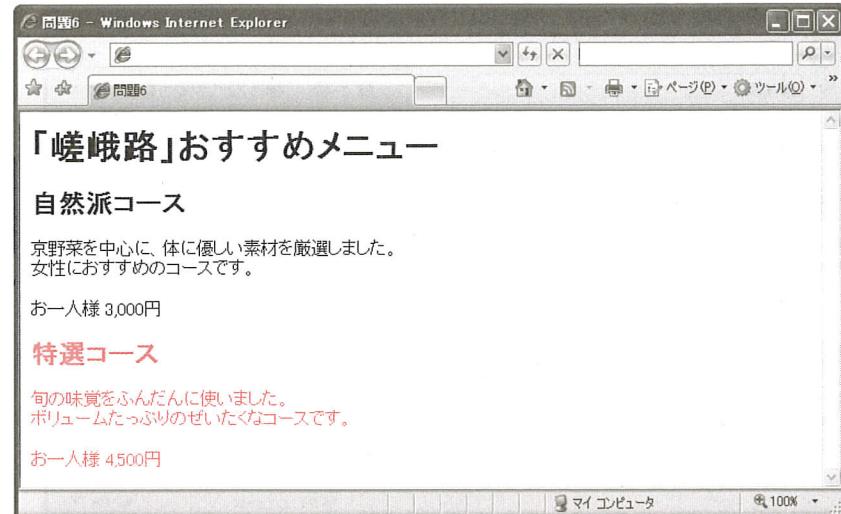
<div> </div> 特定の範囲をひとまとまりにする

特定の範囲を一つのグループにして、ひとまとまりで扱えるようにします。通常、div要素は特定の範囲にスタイルを適用する場合に使います。
<div>～</div>で囲まれた範囲はブロックレベル要素になり、ブラウザでは前後が改行されます。

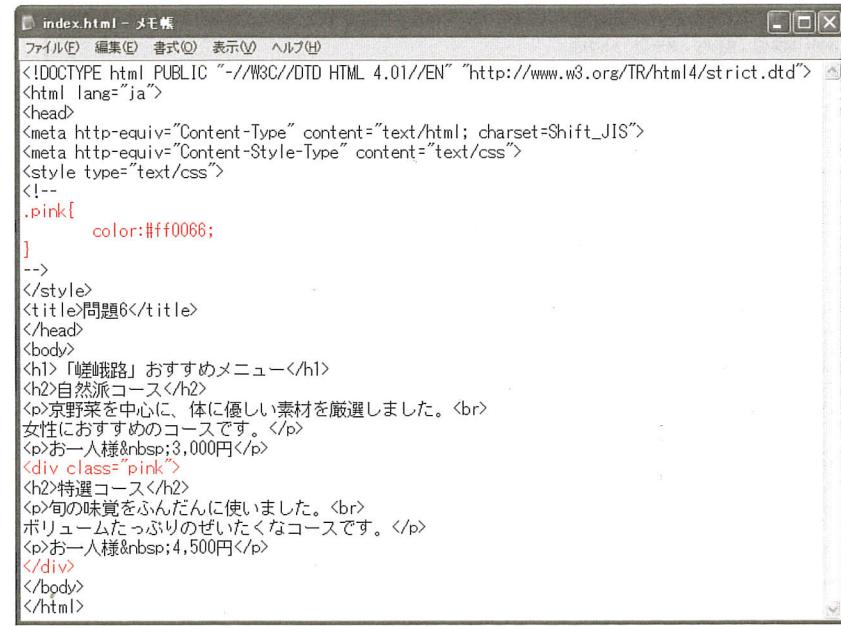


フォルダ「問題6」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「pink」を追加し、スタイル「color:#ff0066」を記述しなさい。次に、見出し2「特選コース」から段落「お一人様 4,500円」までの範囲にクラス「pink」を設定しなさい。
※「color:#ff0066」は、文字色をピンク色にするという意味です。

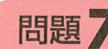
<仕上がりイメージ>



次のように記述します。



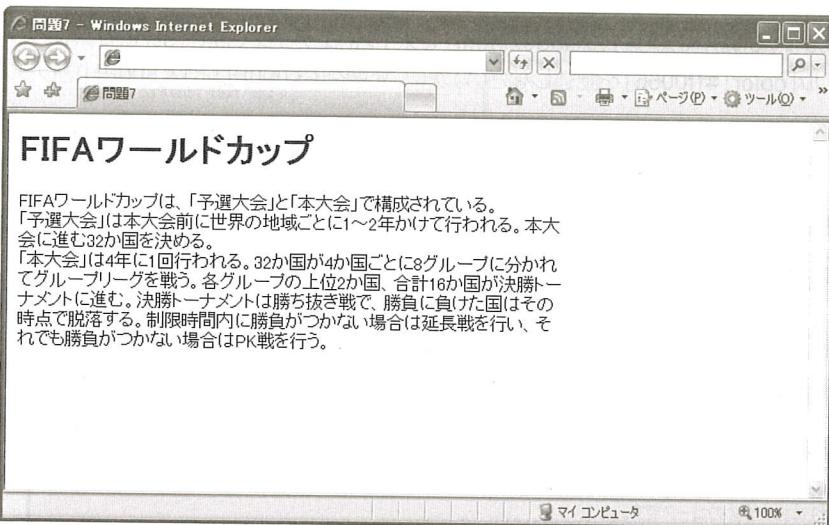
※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



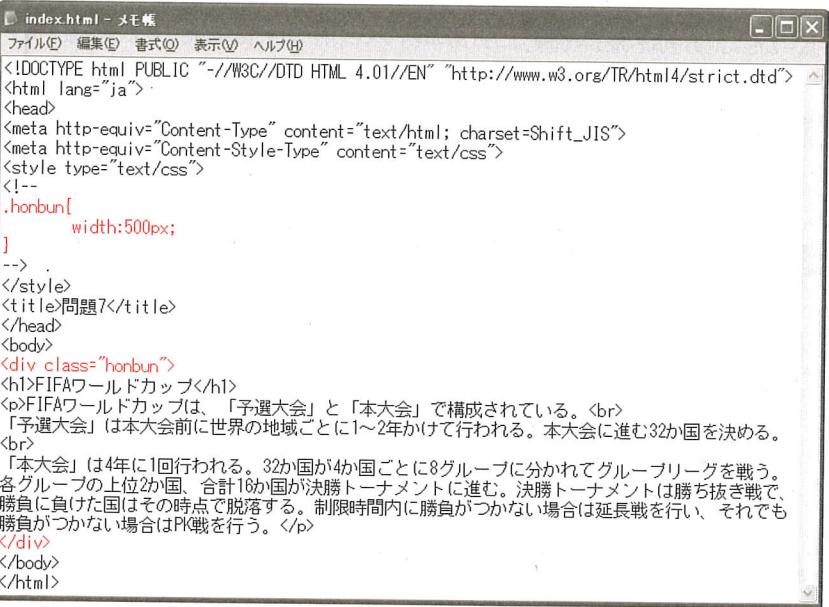
問題7

フォルダ「問題7」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「honbun」を追加し、スタイル「width:500px」を記述しなさい。次に、Webページの本文全体（見出し1「FIFAワールドカップ」から段落「…それでも勝負がつかない場合はPK戦を行う。」まで）にクラス「honbun」を設定しなさい。
※「width:500px」は、幅を500ピクセルに設定するという意味です。

<仕上がりイメージ>



次のように記述します。



※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



 特定の範囲をひとまとまりにする

特定の範囲をひとつのグループにして、ひとまとまりで扱えるようにします。通常、span要素は特定の範囲にスタイルを適用する場合に使います。

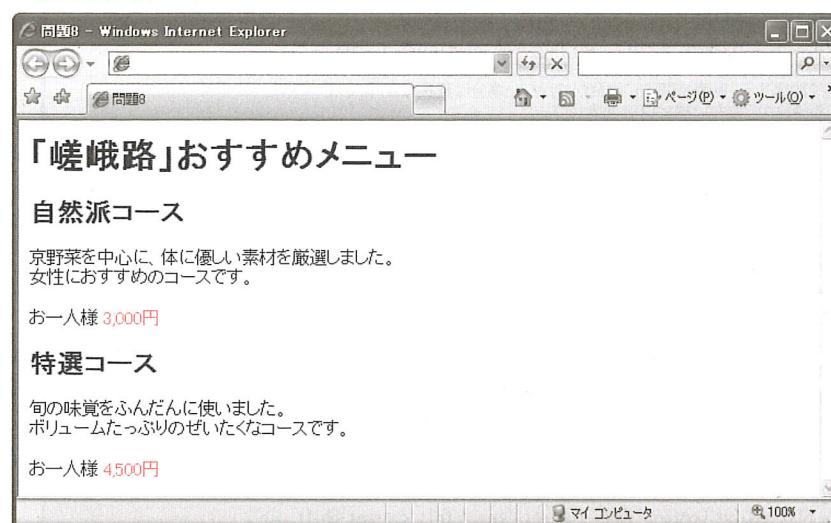
～で囲まれた範囲はインライン要素になり、ブラウザでは前後が改行されません。

問題8

フォルダ「問題8」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「pink」を追加し、スタイル「color:#ff0066」を記述しなさい。次に、文字列「3,000円」と「4,500円」にクラス「pink」を設定しなさい。

※「color:#ff0066」は、文字色をピンク色にするという意味です。

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.pink{
    color:#ff0066;
}
-->
</style>
<title>問題8</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京都菜を中心、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様 3,000円<span class="pink">3,000円</span></p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p>お一人様 4,500円<span class="pink">4,500円</span></p>
</body>
</html>
```

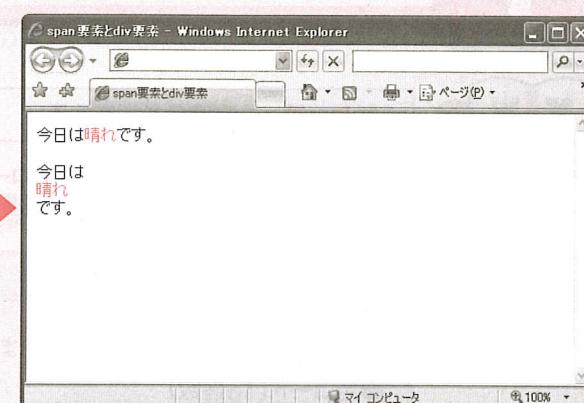
※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



Point! span要素とdiv要素

特定の範囲にスタイルを適用するには、span要素またはdiv要素で範囲を区切って、クラスを使ってスタイルを適用します。span要素は区切った範囲がインライン要素になり、div要素は区切った範囲がブロックレベル要素になります。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.pink{
    color:#ff0066;
}
-->
</style>
<title>span要素とdiv要素</title>
</head>
<body>
<p>今日は<span class="pink">晴れ</span>です。</p>
<p>今日は<div class="pink">晴れ</div>です。</p>
</body>
</html>
```



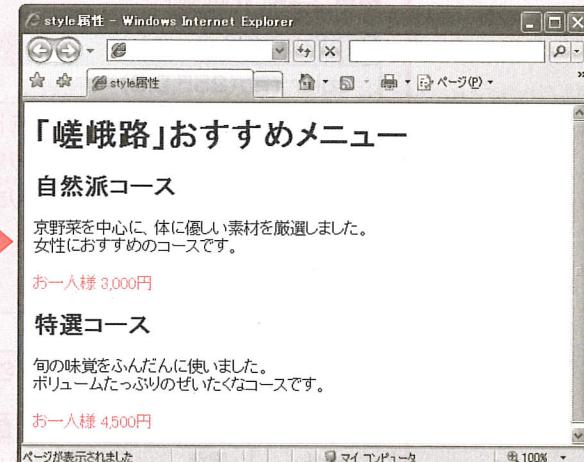
Point! style属性

<要素名 style="プロパティ:値"> <要素名> 要素にスタイルを適用する

指定の要素にスタイルを適用します。style属性は、開始タグ内に属性として記述します。

「{}」を使わず、「style="プロパティ: 値"」のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<title>style属性</title>
</head>
<body>
<h1>「嵯峨路」おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京都菜を中心、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p style="color:#ff0066">お一人様 3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのぜいたくなコースです。</p>
<p style="color:#ff0066">お一人様 4,500円</p>
</body>
</html>
```



style属性の使用上の注意

style属性を使ってCSSを記述すると、HTMLファイルに文書構造の記述と見栄えの記述が混在し、文書構造と見栄えの記述を分離するというHTML4.01の本来の目的から外れてしまいます。style属性を使ってCSSを記述する方法は、適切とは言えません。

特定の要素にスタイルを適用する場合は、クラスを使うようにしましょう。

Chapter 4 STEP2 テキスト

解説

color:値 文字色を指定する

文字列の色を指定します。値には、「色コード」または「色名」を指定します。

Point! 色の指定

HTMLでは、「色コード(カラーコード)」または「色名(カラーネーム)」を使って色を指定します。

●色コード(16進数)

【例】文字色を赤色にする

color:#ff0000

「#(シャープ)」に続けて、赤(R)、緑(G)、青(B)の各色の分量を「00」から「ff」の2桁ずつで指定します。色の強弱は「0123456789abcdef」の16進数で表し、「00」がもっとも弱く、「ff」がもっとも強くなります。各色を「00」「33」「66」「99」「cc」「ff」のいずれかで指定すると、「Webセーフカラー」になります。

#○○○○○
赤 緑 青

●色コード(10進数)

【例】文字色を赤色にする

color:rgb(255,0,0)

赤(R)、緑(G)、青(B)の各色の分量を「0」から「255」までの256段階から指定します。色の強弱は「0」がもっとも弱く、「255」がもっとも強くなります。各色を「0」「51」「102」「153」「204」「255」のいずれかで指定すると、「Webセーフカラー」になります。

●色名

【例】文字色を赤色にする

color:red

「red」「blue」など色に付けられている名前で指定します。

色名	色
black	黒色
silver	銀色
gray	灰色
white	白色
red	赤色
yellow	黄色
lime	黄緑色
aqua	水色

色名	色
blue	青色
fuchsia	ピンク色
maroon	茶色
olive	オリーブ色
green	緑色
teal	青緑色
navy	紺色
purple	紫色

Point! Webセーフカラー

「Webセーフカラー」とは、OSやディスプレイの表示色数に関係なく、どんな環境でも指定どおりに見える色のことです。Webページを作成するときは、できるだけこのWebセーフカラーを使う方がよいとされています。

問題9

フォルダ「問題9」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

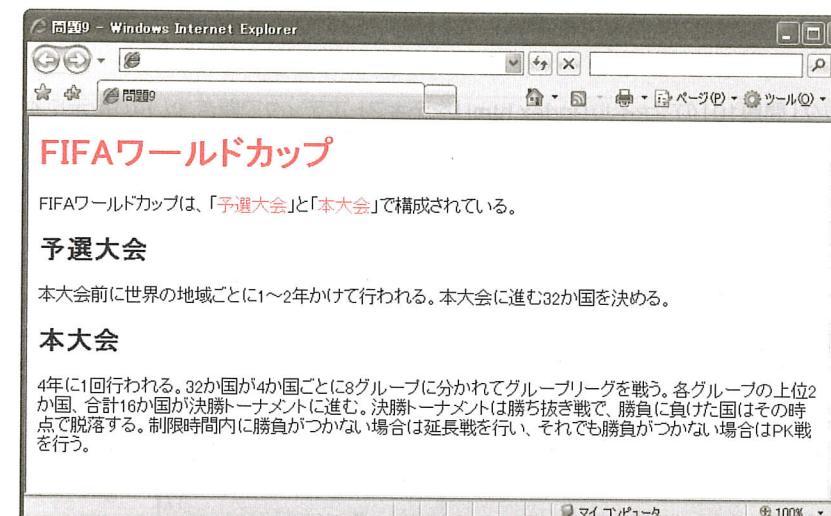
(1) style要素に「h1」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色 #003399(紺色)

(2) style要素にクラス「red」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色 #ff0000(赤色)

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#003399;
}
.red{
    color:#ff0000;
}
-->
</style>
<title>問題9</title>
</head>
<body>
<h1>FIFAワールドカップ</h1>
<p>FIFAワールドカップは、「<span class="red">予選大会</span>」と「<span class="red">本大会</span>」で構成されている。</p>
<h2>予選大会</h2>
<p>本大会前に世界の地域ごとに1~2年かけて行われる。本大会に進む32か国を決める。</p>
<h2>本大会</h2>
<p>4年に1回行われる。32か国が4か国ごとに8グループに分かれてグループリーグを戦う。各グループの上位2か国、合計16か国が決勝トーナメントに進む。決勝トーナメントは勝ち抜き戦で、勝負に負けた国はその時点で脱落する。制限時間内に勝負がつかない場合は延長戦を行い、それでも勝負がつかない場合はPK戦を行う。</p>
</body>
</html>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**text-align:値** 水平方向位置を指定する

文字列やイメージの水平方向位置を指定します。
text-alignプロパティは、ブロックレベル要素に対して指定できます。

値	説明
left	左揃えにします。
center	中央揃えにします。
right	右揃えにします。
justify	両端揃えにします。

問題10

フォルダ「問題10」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

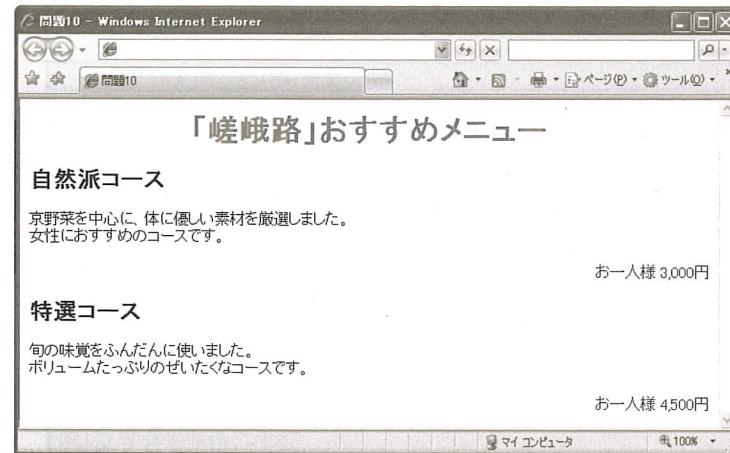
- (1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

水平方向位置	中央
--------	----

- (2) style要素のクラス「price」に、以下の設定を追加しなさい。

水平方向位置	右
--------	---

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#0099ff;
    text-align:center;
}
.price{
    color:#003399;
    text-align:right;
}
-->
</style>
<title>問題10</title>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 両端揃え

通常、英単語は行内に入り切らないとき、次の行に送られ、行の右端は空白になります。text-alignプロパティを使って「justify(両端揃え)」を指定すると、行内が均等に割り付けられて、行の右端は空白になりません。

**text-decoration:値** 文字列の装飾を指定する

文字列に下線や取り消し線を付けるかどうかを指定します。

値	説明
none	文字列を装飾しません。 ※リンクを設定した文字列には自動的に下線が付きますが、「none」を指定すると下線が付きません。
underline	文字列に下線を付けます。
overline	文字列に上線を付けます。
line-through	文字列に取り消し線を付けます。
blink	文字列を点滅させます。 ※Internet Explorer未対応です

問題11

フォルダ「問題11」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

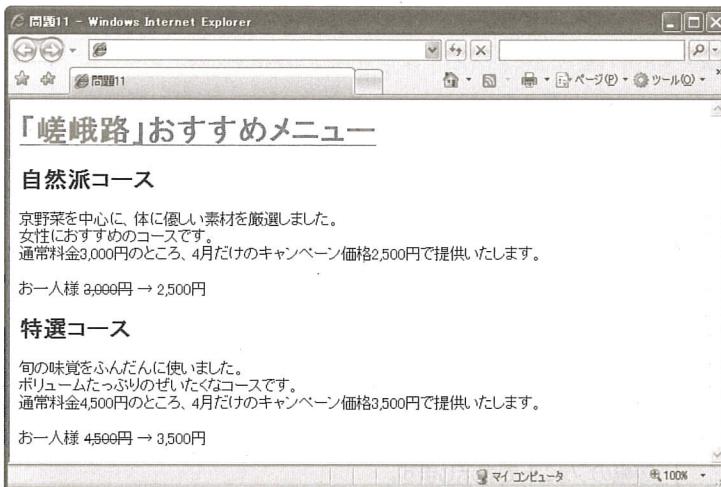
- (1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

文字装飾	下線
------	----

- (2) style要素にクラス「teika」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字装飾	取り消し線
------	-------

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#0099ff;
    text-decoration:underline;
}
.teika{
    text-decoration:line-through;
}
-->
</style>
<title>問題11</title>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 下線や点滅の使用上の注意

下線が付いている文字列は、リンクが設定されていると勘違いされる恐れがあります。リンク以外の場所に下線を付けるのは、適切ではありません。また、点滅する文字列は情報を把握しにくく、視覚に障害があるユーザーには負荷になることがあります。点滅する文字列は使わない方がよいでしょう。

Chapter 4 STEP3 フォント



font-family:値 フォントの種類を指定する

文字列の書体を指定します。値には、「フォント名」または「総称フォントファミリー名」を指定します。ユーザーの環境によって表示できるフォントは異なるので、複数のフォントを指定するのが一般的です。複数のフォントを指定する場合、フォント名の間に「,(カンマ)」で区切り、最後に総称フォントファミリー名を指定します。指定した順番に使用可能なフォントで表示されます。

フォント名

【例】

値	説明
"MS ゴシック"	Windowsの日本語フォント「MS ゴシック」で表示します。 「MS」は全角の大文字、「ゴシック」は全角のカタカナで指定し、間に半角空白を入力します。
"Osaka"	Macintoshの日本語フォント「Osaka」で表示します。 すべて半角で入力し、先頭の「O」を大文字で入力します。

※フォント名は全角・半角・大文字・小文字、スペースなど正確に記述します。

※基本的にフォント名の前後を「"(ダブルクオーテーション)"」または「'!(シングルクオーテーション)'」で囲みます。

総称フォントファミリー名

値	説明
serif	明朝系のフォントで表示します。 (Times New Roman, Garamond, MS P明朝など)
sans-serif	ゴシック系のフォントで表示します。 (Arial, MS Pゴシック, Osakaなど)
cursive	筆記体・草書体系のフォントで表示します。 (Cafisch Script, Ex Pontoなど)
fantasy	装飾系のフォントで表示します。 (Critter, Cottonwood, Studzなど)
monospace	等幅のフォントで表示します。 (Courier, MS ゴシック, MS 明朝, Osaka-等幅など)

※総称フォントファミリー名の前後は「"(ダブルクオーテーション)"」や「'!(シングルクオーテーション)'」で囲みません。



font-size:値 フォントサイズを指定する

文字列のサイズを指定します。

値には、文字列のサイズを「数値+単位」で指定するか、または次のように指定します：

値	説明
xx-small	x-smallより1段階小さなサイズで表示します。
x-small	smallより1段階小さなサイズで表示します。
small	mediumより1段階小さなサイズで表示します。
medium	smallより1段階大きく、largeより1段階小さなサイズで表示します。
large	mediumより1段階大きなサイズで表示します。
x-large	largeより1段階大きなサイズで表示します。
xx-large	x-largeより1段階大きなサイズで表示します。
larger	親要素より1段階大きなサイズで表示します。
smaller	親要素より1段階小さなサイズで表示します。



「数値+単位」の指定方法

CSSでサイズを指定するには、数値に続けて単位を記述します。

利用できる単位には、次のようなものがあります。

●相対指定

単位	説明
px	ピクセル。画面の解像度によって表示サイズは異なります。
em	エム。1エムは使用しているフォントの英小文字「x」の高さです。
ex	エックスハイト。1エックスハイトは使用しているフォントの英小文字「x」の高さです。
%	パーセント。何を基準にした割合かは、設定する対象によって異なります。

●絶対指定

単位	説明
mm	ミリメートル。
cm	センチメートル。
in	インチ。1インチは約2.54cmです。
pt	ポイント。1ポイントは1/72インチです。
pc	パイカ。1パイカは12ポイントです。

概要

1

2

3

4

模擬試験

付録1

索引



フォントサイズ指定時の注意

ユーザーによってはブラウザ上の文字サイズの設定を変更していることがあります。絶対指定を使うと、ユーザーが個別に設定している文字サイズが無効になる場合があります。

フォントサイズを指定する場合、ユーザーの個別の設定を反映できる相対指定を使うようにしましょう。

問題12

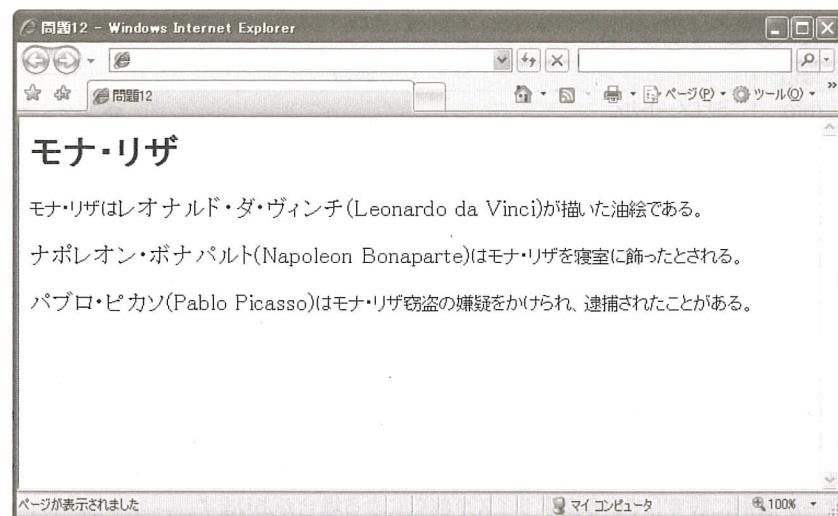
フォルダ「問題12」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

フォントサイズ	200パーセント
---------	----------

(1) style要素に「h1」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

フォントの種類	"MS P明朝", "Times New Roman", serif
フォントサイズ	140パーセント

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<index.html - メモ帳>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    font-size:200%;
}
.name{
    font-family:"MS P明朝","Times New Roman",serif;
    font-size:140%;}
-->
</style>
<title>問題12</title>
</head>
<body>
<h1>モナ・リザ</h1>
<p>モナ・リザは<span class="name">レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo da Vinci)</span>が描いた油絵である。</p>
<p><span class="name">ナポレオン・ボナパルト(Napoleon Bonaparte)</span>はモナ・リザを寝室に飾ったとされる。</p>
<p><span class="name">パブロ・ピカソ(Pablo Picasso)</span>はモナ・リザ窃盗の嫌疑をかけられ、逮捕されたことがある。</p>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

解説

font-weight:値 文字列の太さを指定する

文字列の太さを指定します。

値	説明
normal	太字で表示しません。
bold	一般的な太字で表示します。
bolder	現在指定されている太さより1段階太く表示します。
lighter	現在指定されている太さより1段階細く表示します。
100~900	100~900の数値を100刻みで指定します。 数値が大きくなるほど太く表示されます。 400がnormal、700がboldと同じ太さです。 ※ブラウザによっては、100刻みの太さの変化が確認できない場合があります。

問題13

フォルダ「問題13」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

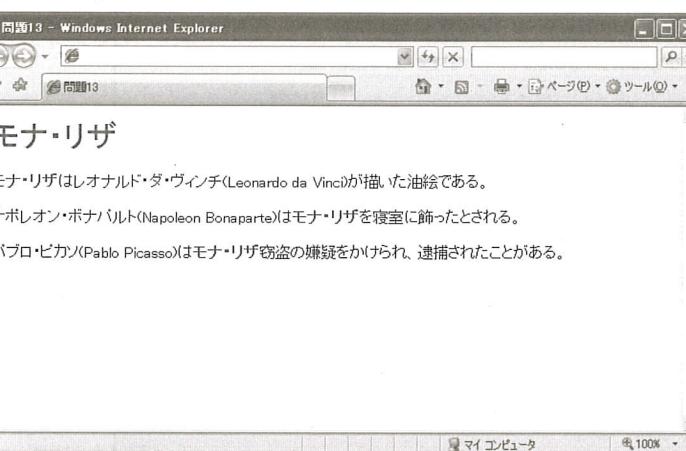
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

文字列の太さ	より細く
--------	------

(2) style要素のクラス「monarisa」に、以下の設定を追加しなさい。

文字列の太さ	太字
--------	----

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<index.html - メモ帳>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#cc0033;
    font-weight:lighter;
}
.monarisa{
    color:#cc0033;
    font-weight:bold;
-->
</style>
<title>問題13</title>
</head>
<body>
<h1>モナ・リザ</h1>
<p><span class="monarisa">モナ・リザ</span>(はレオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo da Vinci))が描いた油絵である。</p>
<p><span class="monarisa">ナポレオン・ボナパルト(Napoleon Bonaparte)</span>はモナ・リザを寝室に飾ったとされる。</p>
<p><span class="monarisa">パブロ・ピカソ(Pablo Picasso)</span>はモナ・リザ窃盗の嫌疑をかけられ、逮捕されたことがある。</p>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



font-style:値 文字列の斜体を指定する

文字列の斜体を指定します。

値	説明
normal	斜体で表示しません。
oblique	斜体で表示します。
italic	イタリックで表示します。

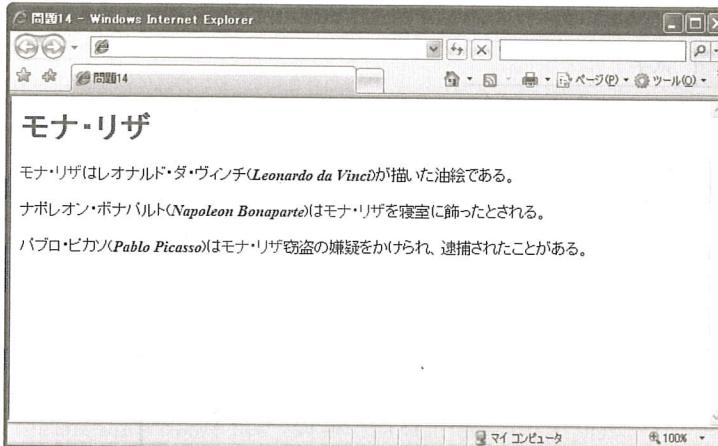
※obliqueは単純に斜めに傾いたフォント、italicは筆記体風に斜めに傾いたフォントです。
ブラウザによっては、どちらの値を指定しても表示に差がない場合があります。

問題14

フォルダ「問題14」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にクラス「name」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

フォントの種類	"Times New Roman", serif
文字列の太さ	太字
文字列のスタイル	イタリック

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#cc0033;
}
.monarisa{
    color:#cc0033;
}
.name{
    font-family:"Times New Roman", serif;
    font-weight:bold;
    font-style:italic;
}
-->
</style>
<title>問題14</title>
</head>
<body>
<h1>モナ・リザ</h1>
<p><span class="monarisa">モナ・リザ</span>はレオナルド・ダ・ヴィンチ(<span class="name">Leonardo da Vinci</span>)が描いた油絵である。</p>
<p>ナポレオン・ボナパルト(Napoleon Bonaparte)はモナ・リザを寝室に飾ったとされる。</p>
<p>パブロ・ピカソ(Pablo Picasso)はモナ・リザ窃盗の嫌疑をかけられ、逮捕されたことがある。</p>
</body>
</html>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Chapter 4

STEP4

背景



background-color:値 背景色を指定する

要素の背景色を指定します。ページ本文、テーブル、段落などさまざまな要素の背景色を指定できます。値には、「色コード」「色名」「transparent」のいずれかを指定します。「transparent」は透明色です。

※「色コード」や「色名」については、P.79を参照してください。

問題15

フォルダ「問題15」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

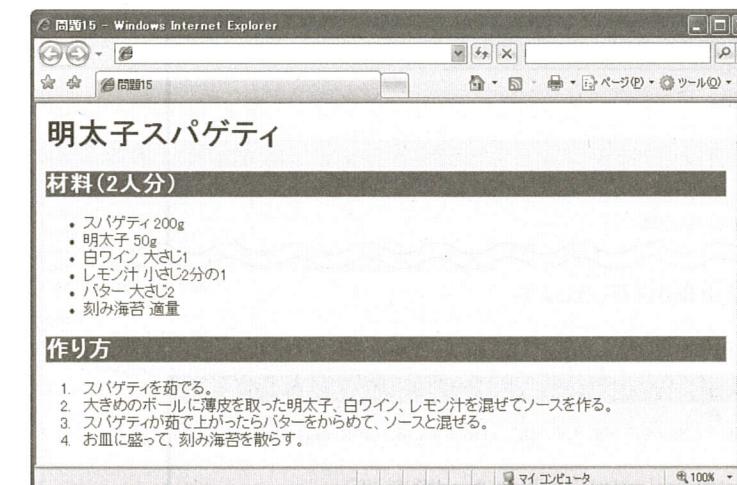
(1) style要素に「body」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色	#000000(黒色)
背景色	#ffffcc(薄い黄色)

(2) style要素に「h2」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色	#ffffff(白色)
背景色	#006633(濃い緑色)

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
body{
    color:#000000;
    background-color:#ffffcc;
}
h2{
    color:#ffffff;
    background-color:#006633;
}
-->
</style>
<title>問題15</title>
</head>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

概要

1

2

3

4

模擬試験

付録1

付録2

索引

問題16

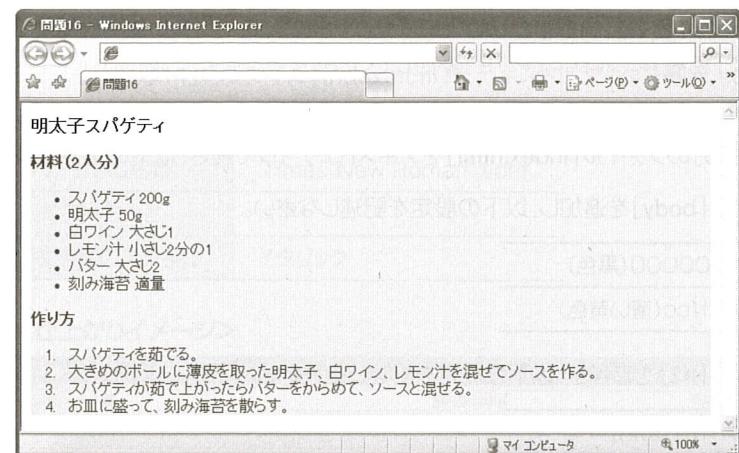
フォルダ「問題16」のファイル「index.html」「style.css」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

- (1) 「style.css」にクラス「green」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

文字色	#000000(黒色)
背景色	#ccff66(黄緑色)

- (2) 「index.html」の見出し2「材料(2人分)」から行頭番号付きリスト「…刻み海苔を散らす。」までに、クラス「green」を設定しなさい。

<仕上がりイメージ>



解答

「style.css」を開き、次のように記述します。

*CSSファイルを右クリック→《プログラムから開く》→《Notepad》または《メモ帳》で開きます。

```
style.css - メモ帳
charset="Shift_JIS";
h1{
    font-size: large;
}
h2{
    font-size: medium;
}
.green{
    color: #000000;
    background-color: #ccff66;
}
```

*CSSファイルを上書き保存しましょう。

「index.html」を開き、次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/css">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="style.css">
<title>問題16</title>
</head>
<body>
<h1>明太子スパゲティ</h1>
<div class="green">
<h2>材料(2人分)</h2>
<ul>
<li>スパゲティ 200g</li>
<li>明太子 50g</li>
<li>白ワイン 大さじ1</li>
<li>レモン汁 小さじ2分の1</li>
<li>バター 大さじ2</li>
<li>刻み海苔 適量</li>


```

*HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 文字色・背景色の指定時の注意

文字色と背景色はコントラストが強いものを組み合わせて、文字列が読みやすくなるようにしましょう。また、ユーザーによっては画面色を反転している場合や特定の色に変更している場合があります。ユーザーの画面色の設定によっては、文字色と背景色のどちらか一方しか指定していないと、文字列が読みにくくなる場合があります。文字色と背景色はセットで指定するようにしましょう。

解説

background-image:値 背景イメージを指定する

要素の背景に敷き詰めるイメージを指定します。指定したイメージは背景全体にタイル状に繰り返して表示されます。ページ本文、テーブル、段落などさまざまな要素の背景イメージを指定できます。値には、「url("images/kabe.gif")」のように「url(ファイルのパス)」を指定します。同一のWebサイト内のファイルの場所は、一般的に相対パスで指定します。

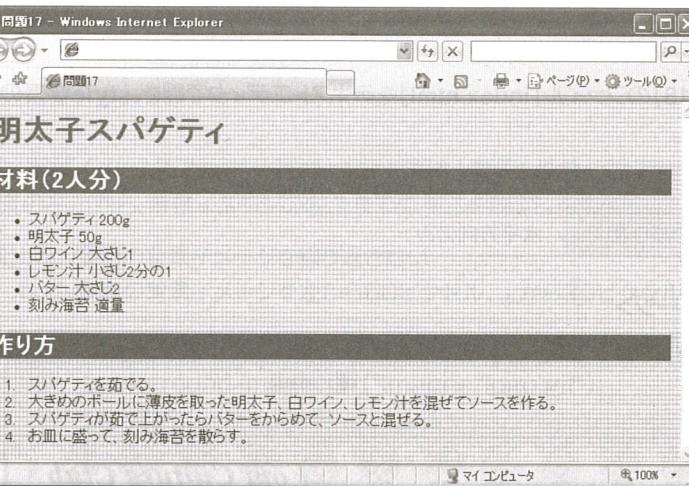
*「相対パス」については、P.40を参照してください。

問題17

フォルダ「問題17」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素の「body」に、以下の設定を追加しなさい。

背景イメージ フォルダ「images」内の「kabe.gif」

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
body{
    color: #000000;
    background-color: #ffffff;
    background-image: url("images/kabe.gif");
}
h1{
    color: #006633;
    background-color: transparent;
}
h2{
    color: #ffffff;
    background-color: #006633;
}
-->
</style>
</head>
<body>
<h1>明太子スパゲティ</h1>
<h2>材料(2人分)</h2>
<ul>
<li>スパゲティ 200g</li>
<li>明太子 50g</li>
<li>白ワイン 大さじ1</li>
<li>レモン汁 小さじ2分の1</li>
<li>バター 大さじ2</li>
<li>刻み海苔 適量</li>


```

*HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

Point! 背景イメージの指定

CSSファイルでイメージの場所を指定する場合、HTMLファイルから見た相対パスではなく、CSSから見た相対パスを指定します。

Point! 背景イメージの指定時の注意

イメージが表示できない環境で閲覧しているユーザーがいるので、背景イメージを指定するときは、背景色も同時に指定するようにしましょう。



background-repeat:値 背景イメージの繰り返し方法を指定する

背景イメージの繰り返し方法を指定します。

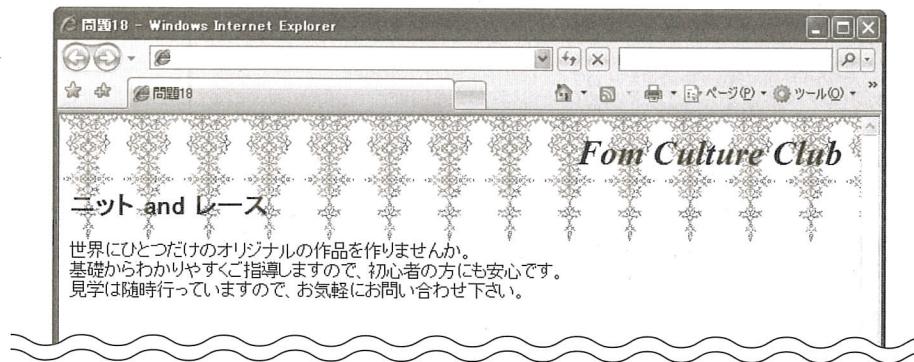
値	説明
repeat	イメージを領域全体に繰り返して敷き詰めます。
repeat-x	イメージを水平方向に繰り返して敷き詰めます。
repeat-y	イメージを垂直方向に繰り返して敷き詰めます。
no-repeat	イメージをひとつだけ配置します。

問題18

フォルダ「問題18」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素の「body」に、以下の設定を追加しなさい。

背景イメージ	フォルダ「images」内の「lace.gif」
背景イメージの繰り返し	水平方向のみ

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(U) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//IUC/DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
body{
    color:#000000;
    background-color:#ffffff;
    background-image:url("images/lace.gif");
    background-repeat:repeat-x;
}
h1{
    font-family:"Times New Roman",serif;
    font-style:italic;
    text-align:right;
}-->
</style>
<title>問題18</title>
</head>
<!-->

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



background-position:水平方向の値 垂直方向の値 背景イメージの位置を指定する

背景イメージの水平方向位置や垂直方向位置を指定します。

水平方向位置

値	説明
left	左に配置します。
center	中央に配置します。
right	右に配置します。

垂直方向位置

値	説明
top	上に配置します。
center	中央に配置します。
bottom	下に配置します。

概要

1

2

3

4

模擬試験

付録1

付録2

索引

また、背景イメージを表示する基準となる位置を「数値+単位」で指定することもできます。
要素の左上から、背景イメージの左上までの長さを指定します。

【例】body要素の背景イメージを繰り返さない

body要素の背景イメージを左から50ピクセル、上から30ピクセルに配置する

```

body{
    background-image:url("images/logo.gif");
    background-repeat:no-repeat;
    background-position:50px 30px;
}

```

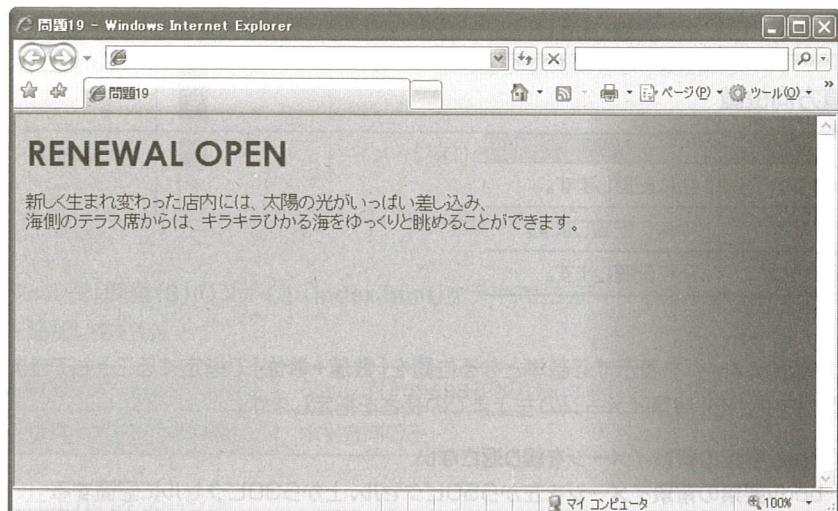


問題19

フォルダ「問題19」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素の「body」に、以下の設定を追加しなさい。

背景イメージ	フォルダ「images」内の「back.jpg」
背景イメージの繰り返し	垂直方向のみ
背景イメージの水平方向位置	右

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
body{
    color:#000000;
    background-color:#ccccff;
    background-image:url("images/back.jpg");
    background-repeat:repeat-y;
    background-position:right;
}
h1{
    font-family:"Century Gothic",sans-serif;
}
-->
</style>
<title>問題19</title>
</head>
<body>
<h1>RENEWAL&nbsp;OPEN</h1>
<p>新しく生まれ変わった店内には、太陽の光がいっぱい差しこみ、<br>海側のテラス席からは、キラキラひかる海をゆっくりと眺めることができます。</p>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

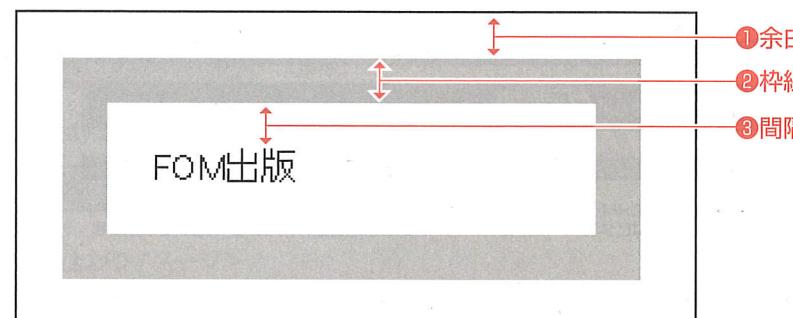
Chapter 4

STEP5 ボックス



ボックス

各要素は「ボックス」と呼ばれる四角い領域で構成されています。ボックス内には、文字列やイメージなどの内容のほかに、「余白(マージン)」「枠線(ボーダー)」「間隔(パディング)」という領域があります。



①余白(マージン)

枠線の周りの余白です。

②枠線(ボーダー)

文字列やイメージなどの内容を囲む枠線です。

③間隔(パディング)

文字列やイメージなどの内容と枠線との間隔です。



border-style:値 枠線のスタイルを指定する

枠線のスタイルを指定します。

値	説明
none	枠線を表示しません。
solid	Lesson 実線で表示します。
double	Lesson 二重線で表示します。
dashed	Lesson 破線で表示します。
dotted	Lesson 点線で表示します。
groove	Lesson 立体的にくぼんだ線で表示します。
ridge	Lesson 立体的に盛り上がった線で表示します。
inset	Lesson 全体をくぼませて表示します。
outset	Lesson 全体を盛り上げて表示します。

問題20

フォルダ「問題20」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

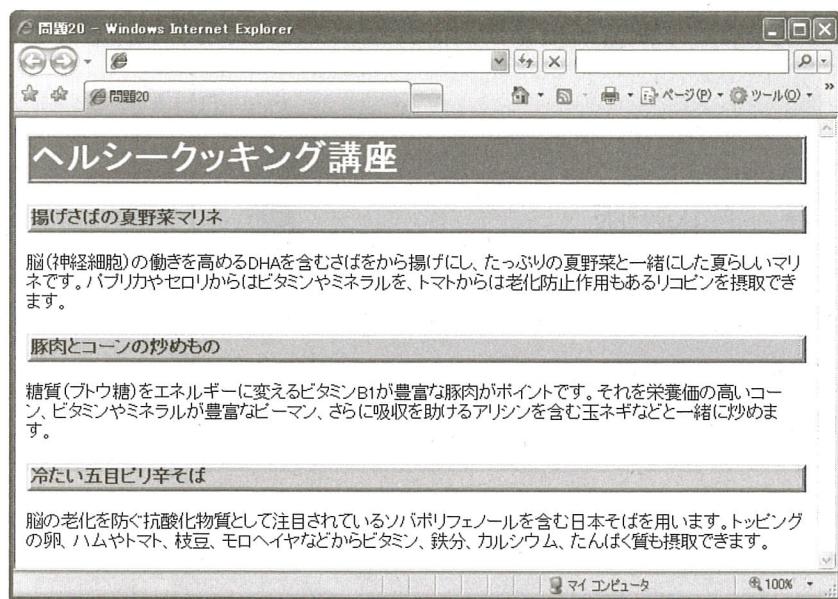
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線のスタイル	立体的に盛り上がった線
---------	-------------

(2) style要素の「h2」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線のスタイル	全体を盛り上げて表示
---------	------------

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#ffffff;
    background-color:#ff3300;
    border-style:ridge;
}
h2{
    color:#000000;
    background-color:#ffcccc;
    font-size:medium;
    border-style:outset;
}
-->
</style>
<title>問題20</title>
</head>
<body>
<h1>ヘルシークッキング講座</h1>
<h2>揚げさばの夏野菜マリネ</h2>
<p>脳(神経細胞)の働きを高めるDHAを含むさばをから揚げにし、たっぷりの夏野菜と一緒にした夏らしいマリネです。パプリカやセロリからはビタミンやミネラルを、トマトからは老化防止作用もあるリコピンを摂取できます。</p>
<h2>豚肉とコーンの炒めもの</h2>
<p>糖質(ブトウ糖)をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富な豚肉がポイントです。それを栄養価の高いコーン、ビタミンやミネラルが豊富なビーマン、さらに吸収を助けるアリシンを含む玉ねぎなどと一緒に炒めます。</p>
<h2>冷たい五目ピリ辛そば</h2>
<p>脳の老化を防ぐ抗酸化物質として注目されているソバポリフェノールを含む日本そばを用います。トッピングの卵、ハムやトマト、枝豆、モロヘイヤなどからビタミン、鉄分、カルシウム、たんぱく質も摂取できます。</p>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



解説

border-top-style:値
border-right-style:値
border-bottom-style:値
border-left-style:値

枠線(上)のスタイルを指定する
枠線(右)のスタイルを指定する
枠線(下)のスタイルを指定する
枠線(左)のスタイルを指定する

枠線の上下左右のスタイルを個別に指定します。

値は、border-styleプロパティと同様に指定します。

問題21

フォルダ「問題21」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

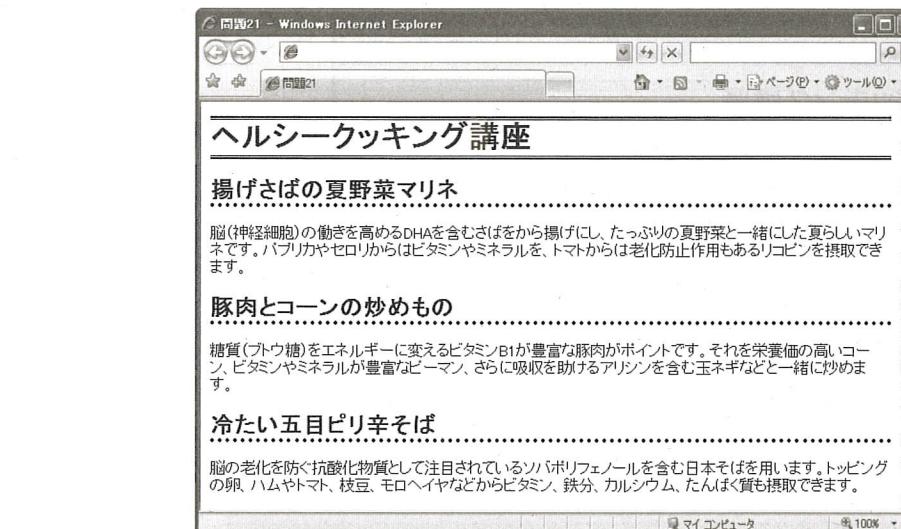
(1) style要素に「h1」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

枠線(上)のスタイル	二重線
枠線(下)のスタイル	二重線

(2) style要素に「h2」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

枠線(下)のスタイル	点線
------------	----

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    border-top-style:double;
    border-bottom-style:double;
}
h2{
    border-bottom-style:dotted;
}
-->
</style>
<title>問題21</title>
</head>
<body>
<h1>ヘルシークッキング講座</h1>
<h2>揚げさばの夏野菜マリネ</h2>
<p>脳(神経細胞)の働きを高めるDHAを含むさばをから揚げにし、たっぷりの夏野菜と一緒にした夏らしいマリネです。パプリカやセロリからはビタミンやミネラルを、トマトからは老化防止作用もあるリコピンを摂取できます。</p>
<h2>豚肉とコーンの炒めもの</h2>
<p>糖質(ブトウ糖)をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富な豚肉がポイントです。それを栄養価の高いコーン、ビタミンやミネラルが豊富なビーマン、さらに吸収を助けるアリシンを含む玉ねぎなどと一緒に炒めます。</p>
<h2>冷たい五目ピリ辛そば</h2>
<p>脳の老化を防ぐ抗酸化物質として注目されているソバポリフェノールを含む日本そばを用います。トッピングの卵、ハムやトマト、枝豆、モロヘイヤなどからビタミン、鉄分、カルシウム、たんぱく質も摂取できます。</p>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**border-width:値** 枠線の太さを指定する

枠線の太さを指定します。
値には、「数値+単位」を指定するか、または次のように指定します。

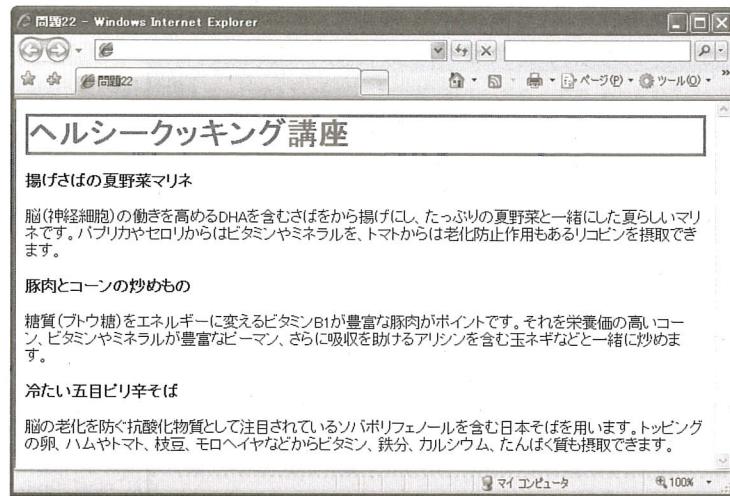
値	説明
thin	細い枠線で表示します。
medium	標準の枠線で表示します。
thick	太い枠線で表示します。

問題22

フォルダ「問題22」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線のスタイル	実線
枠線の太さ	3ピクセル

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#ff3300;
    background-color:#ffffff;
    border-style:solid;
    border-width:3px;
}
h2{
    font-size:medium;
}
-->
</style>
<title>問題22</title>
</head>
<body>
<h1>ヘルシークッキング講座</h1>
<h2>揚げさばの夏野菜マリネ</h2>
<p>脳(神経細胞)の働きを高めるDHAを含むさばをから揚げにし、たっぷりの夏野菜と一緒にした夏らしいマリネです。パプリカやセロリからはビタミンやミネラルを、トマトからは老化防止作用もあるリコピンを摂取できます。


豚肉とコーンの炒めもの



糖質(ブトウ糖)をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富な豚肉がポイントです。それを栄養価の高いコーン、ビタミンやミネラルが豊富なピーマン、さらに吸収を助けるアリシンを含む玉ねぎなどと一緒に炒めます。



冷たい五目ピリ辛そば



脳の老化を防ぐ抗酸化物質として注目されているソバポリフェノールを含む日本そばを用います。トッピングの卵、ハムやトマト、枝豆、モロヘイヤなどからビタミン、鉄分、カルシウム、たんぱく質も摂取できます。


</body>
</html>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**border-top-width:値**
border-right-width:値
border-bottom-width:値
border-left-width:値

枠線(上)の太さを指定する
枠線(右)の太さを指定する
枠線(下)の太さを指定する
枠線(左)の太さを指定する

枠線の上下左右の太さを個別に指定します。

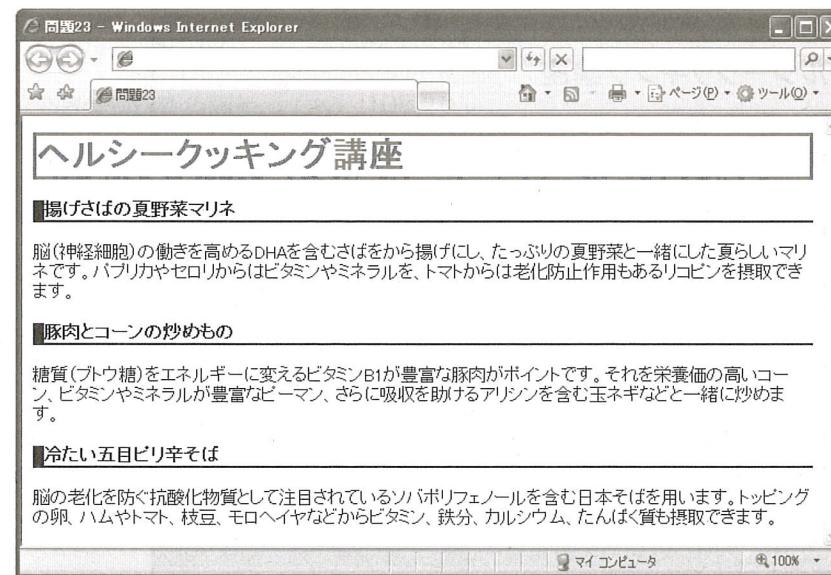
値は、border-widthプロパティと同様に指定します。

問題23

フォルダ「問題23」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素の「h2」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線(下)のスタイル	実線
枠線(左)のスタイル	実線
枠線(下)の太さ	2ピクセル
枠線(左)の太さ	10ピクセル

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#ff3300;
    background-color:#ffffff;
    border-style:solid;
    border-width:3px;
}
h2{
    font-size:medium;
    border-bottom-style:solid;
    border-left-style:solid;
    border-bottom-width:2px;
    border-left-width:10px;
}
-->
</style>
<title>問題23</title>
</head>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**border-color:値** 枠線の色を指定する

枠線の色を指定します。

値には、「色コード」または「色名」を指定します。

※「色コード」や「色名」については、P.79を参照してください。

問題24

フォルダ「問題24」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

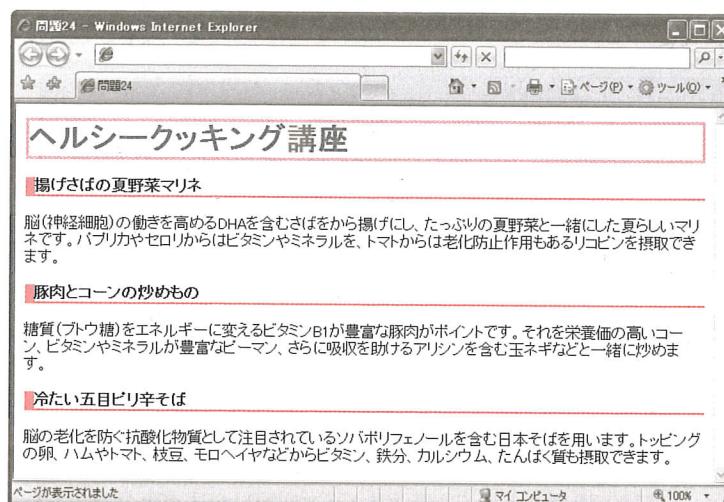
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線の色	#66ccff(水色)
------	-------------

(2) style要素の「h2」に、以下の設定を追加しなさい。

枠線の色	#ff3300(オレンジ色)
------	----------------

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#ff3300;
    background-color:#ffffff;
    border-style:solid;
    border-width:3px;
    border-color:#66ccff;
}
h2{
    font-size:medium;
    border-bottom-style:solid;
    border-left-style:solid;
    border-bottom-width:2px;
    border-left-width:10px;
    border-color:#ff3300;
}
-->
</style>
<title>問題24</title>
</head>
<body>
<h1>ヘルシークッキング講座</h1>
<h2>揚げさばの夏野菜マリネ</h2>
<p>脳(神経細胞)の働きを高めるDHAを含むさばをから揚げにし、たっぷりの夏野菜と一緒にした夏らしいマリネです。パプリカやセロリからはビタミンやミネラルを、トマトからは老化防止作用もあるリコピンを摂取できます。
<h2>豚肉とコーンの炒めもの</h2>
<p>糖質(トウ糖)をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富な豚肉がポイントです。それを栄養価の高いコーン、ビタミンやミネラルが豊富なピーマン、さらに吸収を助けるアリシンを含む玉ねぎなどと一緒に炒めます。
<h2>冷たい五目ピリ辛そば</h2>
<p>脳の老化を防ぐ抗酸化物質として注目されているソバ油リフェノールを含む日本そばを用います。トッピングの卵、ハムやトマト、枝豆、モロヘイヤなどからビタミン、鉄分、カルシウム、たんぱく質も摂取できます。
</body>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**padding:値** 内容と枠線の間隔を指定する

文字列やイメージなどの内容と枠線の間隔を指定します。

値には、内容と枠線の間隔を「数値+単位」または「auto」で指定します。「auto」は既定の間隔です。

**padding-top:値** 内容と枠線(上)の間隔を指定する

内容と枠線(右)の間隔を指定する

内容と枠線(下)の間隔を指定する

内容と枠線(左)の間隔を指定する

上下左右の間隔を個別に指定します。

値は、paddingプロパティと同様に指定します。

問題25

フォルダ「問題25」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

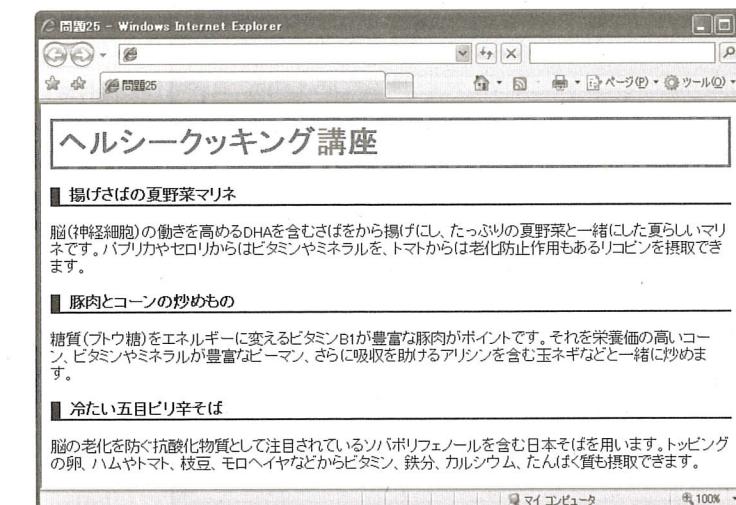
(1) style要素の「h1」に、以下の設定を追加しなさい。

内容と枠線(上下左右)の間隔	5ピクセル
----------------	-------

(2) style要素の「h2」に、以下の設定を追加しなさい。

内容と枠線(左)の間隔	10ピクセル
-------------	--------

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
h1{
    color:#ff3300;
    background-color:#ffffff;
    border-style:solid;
    border-width:3px;
    padding:5px;
}
h2{
    font-size:medium;
    border-bottom-style:solid;
    border-left-style:solid;
    border-bottom-width:2px;
    border-left-width:10px;
    padding-left:10px;
    border-color:#ff3300;
}
-->
</style>
<title>問題25</title>
</head>
<body>
<h1>ヘルシークッキング講座</h1>
<h2>揚げさばの夏野菜マリネ</h2>
<p>脳(神経細胞)の働きを高めるDHAを含むさばをから揚げにし、たっぷりの夏野菜と一緒にした夏らしいマリネです。パプリカやセロリからはビタミンやミネラルを、トマトからは老化防止作用もあるリコピンを摂取できます。
<h2>豚肉とコーンの炒めもの</h2>
<p>糖質(トウ糖)をエネルギーに変えるビタミンB1が豊富な豚肉がポイントです。それを栄養価の高いコーン、ビタミンやミネラルが豊富なピーマン、さらに吸収を助けるアリシンを含む玉ねぎなどと一緒に炒めます。
<h2>冷たい五目ピリ辛そば</h2>
<p>脳の老化を防ぐ抗酸化物質として注目されているソバ油リフェノールを含む日本そばを用います。トッピングの卵、ハムやトマト、枝豆、モロヘイヤなどからビタミン、鉄分、カルシウム、たんぱく質も摂取できます。
</body>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

**margin:値** 余白を指定する

枠線の外周りの余白(マージン)を指定します。

値には、余白を「数値+単位」または「auto」で指定します。「auto」は、ブラウザが自動的に設定する余白です。



margin-top:値	枠線の上側の余白を指定する
margin-right:値	枠線の右側の余白を指定する
margin-bottom:値	枠線の下側の余白を指定する
margin-left:値	枠線の左側の余白を指定する

上下左右の余白(マージン)を個別に指定します。

値は、marginプロパティと同様に指定します。

問題26

フォルダ「問題26」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

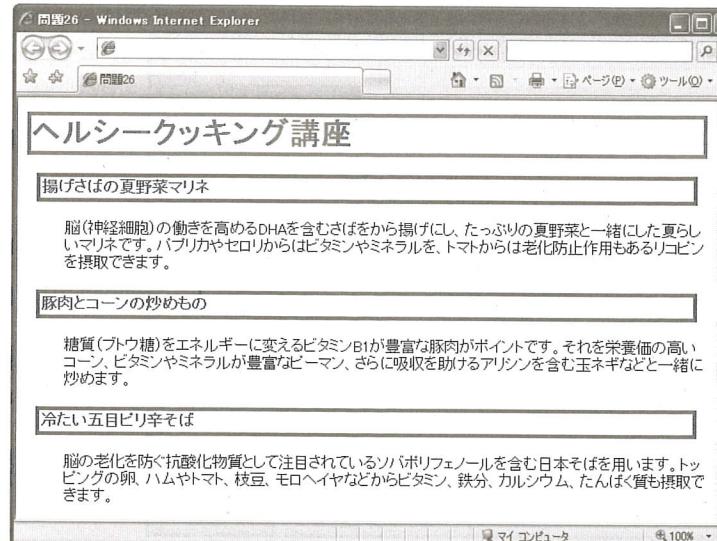
(1) style要素の「h2」に、以下の設定を追加しなさい。

マージン(上下左右)	10ピクセル
------------	--------

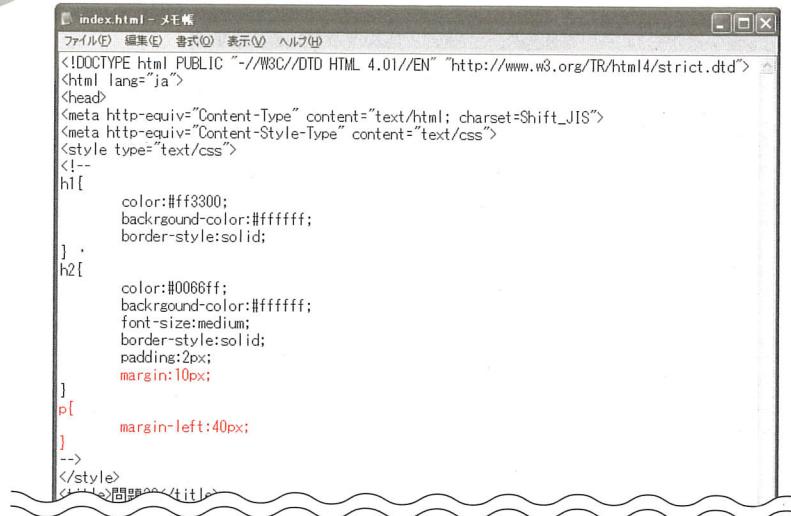
(2) style要素に「p」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

マージン(左)	40ピクセル
---------	--------

<仕上がりイメージ>

**解答**

次のように記述します。



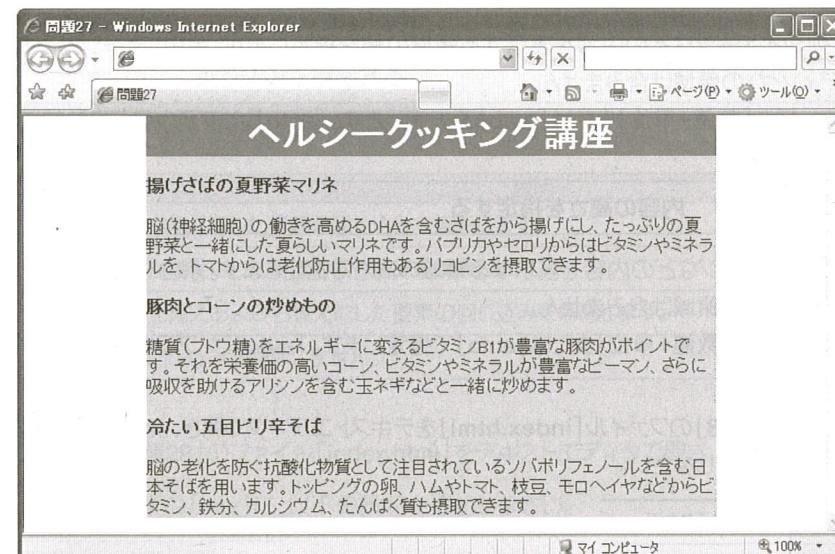
※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

問題27

フォルダ「問題27」のファイル「style.css」をテキストエディタで開き、「body」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

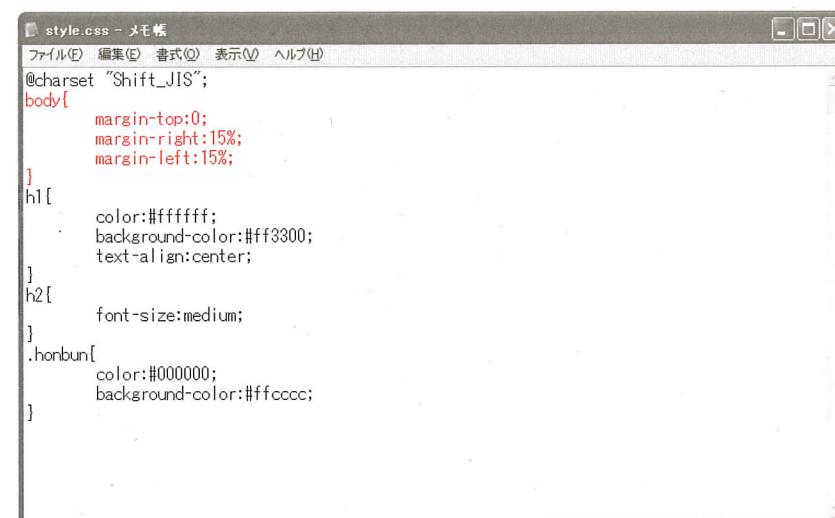
マージン(上)	0
マージン(右)	15パーセント
マージン(左)	15パーセント

<仕上がりイメージ>

**解答**

「style.css」を開き、次のように記述します。

※CSSファイルを右クリック→《プログラムから開く》→《Notepad》または《メモ帳》で開きます。



※CSSファイルを上書き保存し、Internet ExplorerでHTMLファイルへの反映を確認しておきましょう。

解説

width:値 内容の幅を指定する

文字列やイメージなどの内容を表示する領域の幅を指定します。余白(マージン)、枠線(ボーダー)、間隔(パディング)の領域は含みません。

値には、幅を「数値+単位」または「auto」で指定します。「auto」は、ブラウザが自動的に設定する幅です。

解説

height:値 内容の高さを指定する

文字列やイメージなどの内容を表示する領域の高さを指定します。余白(マージン)、枠線(ボーダー)、間隔(パディング)の領域は含みません。

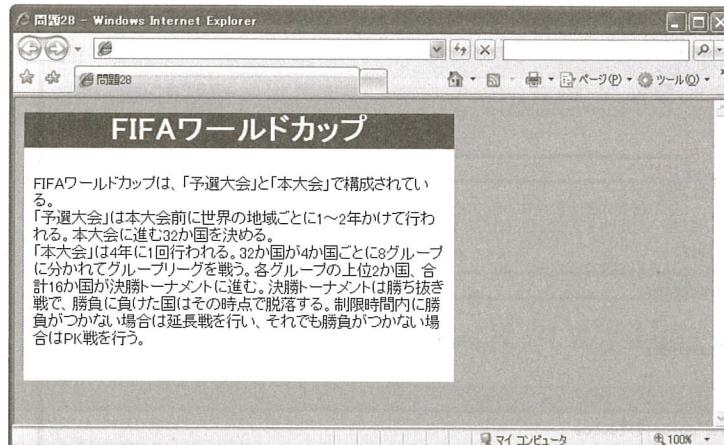
値には、高さを「数値+単位」または「auto」で指定します。「auto」は、ブラウザが自動的に設定する高さです。

問題28

フォルダ「問題28」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素のクラス「honbun」に、以下の設定を追加しなさい。

幅	450ピクセル
高さ	280ピクセル

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```

<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
</head>
<body>
<p style="text-align:center; font-size:12pt; padding:10px; width:450px; height:280px; background-color:#ffffff; color:#000000; border:none; margin:0; float:left; margin-left:10px; margin-right:10px; border:1px solid black; border-radius:10px; box-sizing:border-box; position:relative; z-index:1; overflow:hidden; "></p>
<.honbun{ color:#000000; background-color:#ffffff; width:450px; height:280px; border:none; margin:0; float:left; margin-left:10px; margin-right:10px; border:1px solid black; border-radius:10px; box-sizing:border-box; position:relative; z-index:1; overflow:hidden; }</.honbun>
</body>
</html>

```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

解説

float:値 回り込みを指定する

要素の後ろに続く文字列やイメージなどの回り込みを指定します。

値	説明
left	要素を左揃えにし、後ろに続く文字列やイメージなどを要素の右側に回り込ませます。
right	要素を右揃えにし、後ろに続く文字列やイメージなどを要素の左側に回り込ませます。
none	要素の周りに文字列やイメージなどを回り込ませません。

概要

1

2

3

4

模擬試験

付録1

付録2

索引

解説

clear:値 回り込みを解除する

要素の後ろに続く文字列やイメージなどの回り込みを解除します。

値	説明
left	左揃えにした要素の回り込みを解除します。
right	右揃えにした要素の回り込みを解除します。
both	左揃えおよび右揃えにした要素の回り込みを解除します。
none	回り込みを解除しません。

問題29

フォルダ「問題29」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

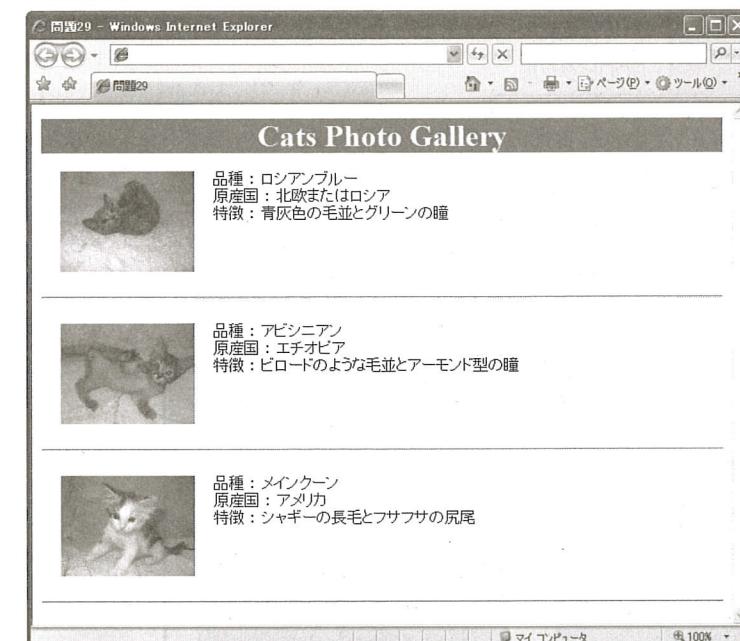
(1) style要素の「img」に、以下の設定を追加しなさい。

回り込みの指定	左
---------	---

(2) style要素に「hr」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

回り込みの解除	左
---------	---

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
.h1{
    color:#ffffff;
    background-color:#339966;
    font-family:"Times New Roman",serif;
    text-align:center;
}
.img{
    margin-right:20px;
    margin-left:20px;
    float:left;
}
.hr{
    clear:left;
}
-->
</style>
<title>問題29</title>
</head>
<body>
<img alt="A small decorative graphic consisting of several overlapping semi-circles in various colors (blue, green, yellow) arranged in a wavy pattern." data-bbox="136 285 384 294"/>
<hr data-bbox="136 285 384 294"/>
</body>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

解答

「style.css」を開き、次のように記述します。

```
@charset "Shift_JIS";
.left{
    color:#000000;
    background-color:#cccc99;
    padding:20px;
    margin-left:10px;
    width:300px;
    float:left;
}
.right{
    color:#000000;
    background-color:#cccc99;
    padding:20px;
    margin-left:400px;
    width:300px;
}
```

※CSSファイルを上書き保存しましょう。

「index.html」を開き、次のように記述します。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="style.css">
<title>問題30</title>
</head>
<body>
<h1>世界七不思議</h1>
<p>世界七不思議には、「古代の七不思議」と「新世界の七不思議」があるのを知っていますか。</p>
<div class="left">
<ul>
<li>古代の七不思議</li>
<li>ギザのピラミッド</li>
<li>ピロムの空中庭園</li>
<li>アレクサンドリアの大灯台</li>
<li>ロードス島の巨像</li>
<li>エフェソスのアルテミス神殿</li>
<li>オリンピアのゼウス像</li>
<li>ハリカルナッソスの靈廟</li>
</ul>
</div>
<div class="right">
<ul>
<li>新世界の七不思議</li>
<li>ナスカの地上絵</li>
<li>エジプトの王家の谷</li>
<li>ソールズベリーのストーンヘンジ</li>
<li>中国の万里の長城</li>
<li>イースター島のモアイ像</li>
<li>イスタンブールの聖ソフィア寺院</li>
<li>カンボジアのアンコールワット</li>
</ul>
</div>
</body>
</html>
```

※HTMLファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。

問題30

フォルダ「問題30」のファイル「index.html」「style.css」をテキストエディタで開き、以下の指示に従いなさい。

内容と枠線の間隔	20ピクセル
マージン(左)	10ピクセル
幅	300ピクセル
回り込みの指定	左

(1)「style.css」のクラス「left」に、以下の設定を追加しなさい。

内容と枠線の間隔	20ピクセル
マージン(左)	400ピクセル
幅	300ピクセル

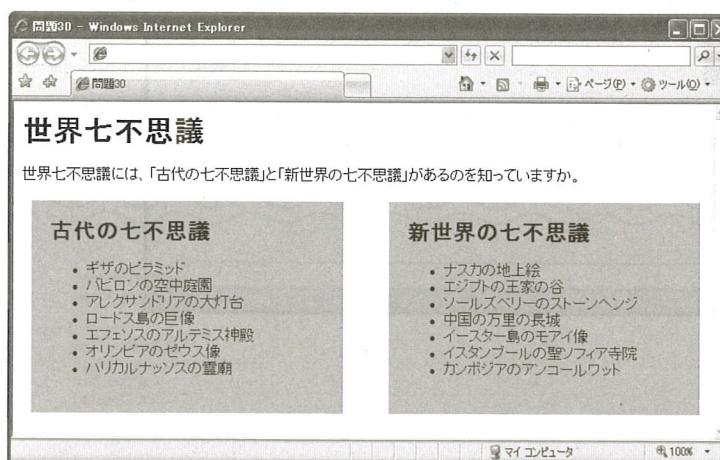
(2)「style.css」のクラス「right」に、以下の設定を追加しなさい。

内容と枠線の間隔	20ピクセル
マージン(左)	400ピクセル
幅	300ピクセル

(3)「index.html」の見出し2「古代の七不思議」から行頭記号付きリスト「…ハリカルナッソスの靈廟」までにクラス「left」を設定しなさい。

(4)「index.html」の見出し2「新世界の七不思議」から行頭記号付きリスト「…カンボジアのアンコールワット」までにクラス「right」を設定しなさい。

＜仕上がりイメージ＞





擬似クラス

CSSには、あらかじめ用意されている「擬似クラス」があります。a要素とセットで使い、「a:擬似クラス名」のように記述します。擬似クラス名の前には「:(コロン)」を記述します。

擬似クラス	説明
:link	未アクセスのリンク部分を指定します。
:visited	アクセス済みのリンク部分を指定します。
:hover	マウスでポイントしたときのリンク部分を指定します。
:active	クリックしたときのリンク部分を指定します。

【例】未アクセスのリンク部分の色を赤色にする

```
a:link{color:#ff0000}
```

擬似クラス

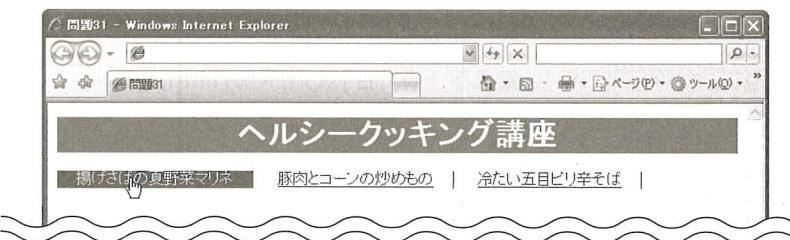
問題31

フォルダ「問題31」のファイル「base.css」をテキストエディタで開き、擬似クラス「a:link」「a:visited」「a:hover」を追加し、以下の設定を記述しなさい。

未アクセスのリンク部分の文字色	#006600(緑色)
未アクセスのリンク部分の背景色	#ffff00(白色)
アクセス済みのリンク部分の文字色	#666666(灰色)
アクセス済みのリンク部分の背景色	#ffff00(白色)

ポイント時のリンク部分の文字色	#ffffff(白色)
ポイント時のリンク部分の背景色	#006600(緑色)
ポイント時のリンク部分の文字装飾	なし

<仕上がりイメージ>



解答

「base.css」を開き、次のように記述します。

※CSSファイルを右クリック→《プログラムから開く》→《Notepad》または《メモ帳》で開きます。

```
base.css - メモ帳
charset "Shift_JIS";
h1{
}
a{
    border-right-style:solid;
    border-right-width:1px;
    padding-right:20px;
    padding-left:20px;
}
a:link{
    color:#006600;
    background-color:#ffff00;
}
a:visited{
    color:#666666;
    background-color:#ffff00;
}
a:hover{
    color:#ffff00;
    background-color:#006600;
    text-decoration:none;
}
```

※CSSファイルを上書き保存し、Internet ExplorerでHTMLファイルへの反映を確認しておきましょう。



ID

クラスと同様の使いができるものに、「ID」があります。IDを使って、特定の部分にスタイルを適用することができます。ただし、IDのスタイルを適用する箇所は、ひとつのHTMLファイル内で1か所だけという原則になっています。

IDを使って特定の部分にスタイルを適用するには、次のようにCSSとHTMLを記述します。

CSSでIDを定義して、HTMLでid属性にID名を記述します。定義するIDは、先頭に「#(シャープ)」を付けます。

【例】ひとつのp要素だけ、文字色を赤色にする

CSS

```
#today{color:#ff0000}
```

ID

HTML

```
<html>
<head>
<title>スタイルの適用</title>
</head>
<body>
<p>昨日は雨でした。</p>
<p id="today">今日は曇りです。</p>
<p>明日は晴れるでしょう。</p>
</body>
</html>
```

ID名
id属性



<要素名 id="ID名"> </要素名> IDで定義するスタイルを適用する

指定の要素にIDのスタイルを適用します。

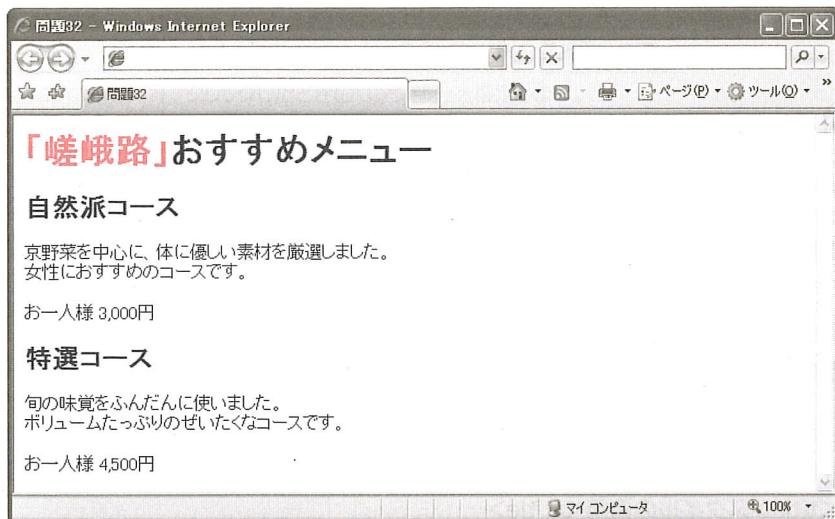
IDはCSSファイルで定義するか、HTMLファイルの<head>～</head>間にstyle要素を使って定義します。

問題32

フォルダ「問題32」のファイル「index.html」をテキストエディタで開き、style要素にID「pink」を追加し、以下の設定を記述しなさい。次に、文字列「嵯峨路」にID「pink」を設定しなさい。

文字色	#ff0066(ピンク色)
背景色	#ffffff(白色)

<仕上がりイメージ>



解答

次のように記述します。

```
index.html - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN" "http://www.w3.org/TR/html4/strict.dtd">
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<style type="text/css">
<!--
#pink{
    color:#ff0066;
    background-color:#ffffff;
}
-->
</style>
<title>問題32</title>
</head>
<body>
<h1><span id="pink">「嵯峨路」</span>おすすめメニュー</h1>
<h2>自然派コース</h2>
<p>京都菜を中心、体に優しい素材を厳選しました。<br>
女性におすすめのコースです。</p>
<p>お一人様3,000円</p>
<h2>特選コース</h2>
<p>旬の味覚をふんだんに使いました。<br>
ボリュームたっぷりのせいたくなコースです。</p>
<p>お一人様4,500円</p>
</body>
</html>
```

※ファイルを上書き保存し、Internet Explorerで確認しておきましょう。



模擬試験

本試験と同レベルの模擬試験3回分を用意しています。

学習の前に.....	111
第1回 模擬試験 規定期問	114
模擬試験 自由問題	118
第2回 模擬試験 規定期問	126
模擬試験 自由問題	130
第3回 模擬試験 規定期問	138
模擬試験 自由問題	142